

平成27年度

事業報告書  
決算書



北アルプスフェア「昔の遊びコーナー」でボランティアからこま回しを教わる子どもたち  
(10/3 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区)

社会福祉法人 大町市社会福祉協議会



平成27年度

## 事業報告書



「男性の料理教室」でボランティアとともにおやきづくりを楽しむ参加者  
(8/4 常盤公民館)

社会福祉法人 大町市社会福祉協議会

# 目次

## ■ 主な会議・行事等 .....(P1)

## ■ 寄附採納 .....(P3)

## ■ 主要事業の実績

### I 地域福祉推進基盤の強化

---

#### 1. 法人運営基盤の強化 .....(P4)

- (1) 法人運営事業
- (2) 資産管理事業

#### 2. 地域福祉活動の財源確保 .....(P10)

- (1) 会員組織強化事業
- (2) 赤い羽根共同募金運動推進事業

#### 3. 災害時支援体制の強化 .....(P13)

#### 4. 生活課題の調査・研究 .....(P14)

#### 5. 公益事業の推進 .....(P15)

### II お互いさまのまちづくり

---

#### 1. 地域における支え合い活動の推進 ..(P18)

- (1) ご近所支え合い事業
- (2) 小地域福祉ネットワーク事業
- (3) 地区社協連携強化事業
- (4) 市民ふれあい広場の開催

#### 2. ボランティア活動の推進 .....(P24)

- (1) ボランティアセンター運営事業
- (2) ボランティア活動相互連携事業
- (3) 災害ボランティア支援態勢整備事業

### III 安心して暮らせるまちづくり

---

#### 1. 生活支援活動の推進 .....(P27)

- (1) 心配ごと相談事業
- (2) 福祉輸送サービス事業
- (3) 日常生活自立支援事業
- (4) 豊かな暮らし応援事業

#### 2. 高齢者福祉活動の推進 .....(P31)

- (1) 生きがいデイサービス事業
- (2) 生活支援ホームヘルプサービス事業

#### 3. 介護保険事業の推進 .....(P32)

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 訪問介護事業
- (3) 訪問入浴介護事業
- (4) 通所介護事業
  - ① デイサービスひなたぼっこ
  - ② デイサービスこすもす
  - ③ デイサービスみさか
  - ④ デイサービスみあさ

#### 4. 障がい者福祉の推進 .....(P37)

- (1) 障がい理解促進事業
- (2) 障がい者余暇活動支援事業
- (3) 障がい者就労支援事業
- (4) 地域生活支援事業
  - ① 障害福祉サービス計画支援事業
  - ② 大北圏域障害者相談支援事業
  - ③ 発達障がいサポート・マネジャー事業
  - ④ 療育支援事業
  - ⑤ 障害者地域活動支援センター事業
  - ⑥ 移動支援サービス事業
  - ⑦ 日中一時支援事業
  - ⑧ いこいの家事業

#### (5) 障がい福祉サービス事業

- ① 障がい者居宅介護事業
- ② 多機能型障害福祉サービス事業

#### 5. 経済的支援活動の推進 .....(P47)

- (1) 生活困窮者等自立支援事業
- (2) 資金貸付事業
- (3) 災害見舞金等支給事業

### IV 受け継がれるまちづくり

---

#### 1. 福祉における福祉意識の啓発 ..(P50)

- (1) 福祉情報発信事業
- (2) 地域福祉意識啓発事業

#### 2. 地域の担い手育成 .....(P52)

- (1) 福祉教育推進事業
- (2) 地域福祉活動担い手育成事業

#### 3. 地域福祉活動団体の育成 .....(P53)

- (1) 小地域福祉ネットワーク活動推進事業
- (2) 地域福祉活動団体育成事業

## ■ 主な会議・行事等

期 日	内 容	会 場
4月 1日	第1回理事会開催	総合福祉センター
//	辞令・通知書交付式	//
6日	貸出備品「カーレット」導入（3セット）	//
7日	市制60周年・合併10年記念事業実行委員会出席	市役所
13日	第2回神城断層地震義援金配分委員会出席	//
22日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会理事会開催	総合福祉センター
24日	役員研修会開催	4施設各事業所
//	役職員歓送迎会開催	ホテルからまつ荘
27日	階段避難車導入（2台）	総合福祉センター
28日	共募安心安全なまちづくり事業公募配分贈呈式開催	//
5月 5日	公衆浴場「子どもの日無料開放デー」実施	総合福祉センター
20日	市民生児童委員協議会研修視察同行 ～21日	京都方面
22日	障害福祉サービス事業所日帰り旅行実施	群馬方面
28日	第2回理事会、第1回評議員会開催	総合福祉センター
29日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会総会・研修会開催	平公民館
6月 2日	大北ブロックボランティア活動フォーラム実行委員会開催	総合福祉センター
16日	大北ブロック社協事務局長会議開催	//
19日	県社協ブロック代表社協連絡会議出席	塩尻市
20日	大北地区障がい者運動会参加	総合体育館
24日	共同募金会大町市支会委員会開催	総合福祉センター
28日	第68回長野県視覚障害者福祉大会出席	温泉郷
7月 2日	小地域福祉ネットワーク研修会開催	平公民館
3日	中村雅彦・吉良健一郎「七夕コンサート」開催	総合福祉センター
7日	大北圏域引きこもり・生活困窮者等支援連絡会議出席	//
//	行政（市福祉課）との懇談会開催	//
24日	総合福祉センター運営懇話会開催	//
8月 1日	やまびこまつり参加	市街地中央通り
10日	デイみさか送迎用軽車両導入	八坂総合福祉センター
24日	ボランティアセンター運営委員会開催	総合福祉センター
28日	大北ブロック社協職員研修会開催	//
29日	市総合防災訓練参加（職員参集訓練実施）	//



貸出備品「カーレット」導入（4/6 総合福祉センター）



やまびこまつり「社協連」（8/1 市街地中央通り）



期 日	内 容	会 場
9月 4日	障がい児・者希望の旅実施	上越市・糸魚川市
9日	第64回長野県社会福祉大会出席	須坂市
17日	第3回理事会、第2回評議員会開催	総合福祉センター
20日	公衆浴場「敬老の日前日無料開放デー」実施	〃
10月 3日	赤い羽根共同募金街頭募金実施	ザ・ビッグ、バイシア
〃	国営アルプスあづみの公園北アルプスフェア参加（昔の遊びコーナー出展） ～4日	国営アルプスあづみの公園大町・松川地区
10日	市民ふれあい広場開催	文化会館前広場
14日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会理事会開催	総合福祉センター
21日	貸出備品「綿菓子製造機」導入	〃
22日	大北ブロックボランティア地域活動フォーラム開催	平公民館
31日	大北圏域介護保険事業者連絡協議会全体研修会開催	JA大北本所アプロード
11月 2日	平成28年度予算（市受託・補助事業）ヒアリング実施	総合福祉センター
5日	障害福祉サービス事業所自主製品販売用テント導入	〃
6日	大北ブロック事務局長会議開催	〃
10日	第1回成年後見支援センター設立準備会出席	市役所
13日	平成28年度予算に関するヒアリング（市福祉課）出席	〃
20日	共同募金会大町市支会「組織の在り方検討会①」開催	総合福祉センター
22日	神城断層地震災害ボランティア派遣	美麻地区
27日	第4回理事会開催	総合福祉センター
30日	小地域福祉ネットワーク勉強会開催	〃
12月 5日	自立支援協議会勉強会開催	〃
11日	大北ブロック事例研究会開催	〃
18日	第2回成年後見支援センター設立準備会出席	市役所
29日	公衆浴場臨時営業 ～30日	総合福祉センター
〃	年末入浴サービス実施	こすもす、みさか
30日	年末入浴サービス実施	ひなたぼっこ、みあさ
1月 3日	公衆浴場臨時営業 「お年玉無料開放デー&おしるこサービス」実施	総合福祉センター
15日	平成28年度予算（介護・障害事業）ヒアリング実施	〃
21日	大北ブロック社協「顔の見える交流研修会」開催	〃
28日	ボランティアリーダー研修会開催	〃
2月 9日	福祉啓発標語選考委員会開催	〃
19日	共同募金会大町市支会「組織の在り方検討会②」開催	〃
〃	知って得する社協の講座①「相続の基礎」開催	〃
21日	大町市ボランティア交流研究集会開催	サン・アルプス大町
3月 3日	知って得する社協の講座②「相続税と遺言」開催	総合福祉センター
11日	共同募金会大町市支会委員会開催	〃
17日	第5回理事会、第3回評議員会開催	〃
18日	知って得する社協の講座③「セカンドライフプラン」開催	〃
25日	知って得する社協の講座④「成年後見制度」開催	〃

## ■ 寄附採納

### ① 寄附者一覧（寄附金）

期 日	寄附者（敬称略）	金額（円）
5月 3日	大町ソフトボール連盟	53,200
6月 5日	匿名	120,000
9月 4日	匿名	2,718
9月10日	大町市元市議会議員の会	20,000
10月 7日	大謡会	16,169
10月15日	日本禁煙友愛会大町支部	4,500
10月16日	陶芸の家	10,000
10月23日	88ボランティア	10,000
10月26日	大北建設労働組合	3,811
10月28日	大糸タイムス友の会	40,000
11月 9日	相生町老人クラブ長生会	11,523
12月18日	匿名	4,966
12月21日	匿名	4,889
12月21日	大町市老人クラブ連合会	200,000
2月 4日	大町市青年会議所シニアクラブ	30,000
2月16日	ろうきん大町支店運営委員会	27,000
2月25日	昭和電工(株)大町事業所	30,000
3月18日	大町市女性団体連絡協議会	20,000
3月24日	大町市婦人会	20,000
合 計	19件	628,776

※ 寄附金は、ボランティア基金に積立て、ボランティアセンター運営委員会で使途を協議のうえ取崩し、寄附者の意向を尊重しながら有効活用を図っています。

### ② 寄附者一覧（物品）

期 日	寄附者（敬称略）	物 品（数量等）	相当額（円）
4月 3日	匿名	プッシュ式公衆電話（1台）	—
4月17日	匿名	ロックミシン、足踏みミシン（各1台）	—
5月20日	匿名	電動ベッド（1台）	100,000
5月27日	匿名	ポータブルトイレ（1台）	—
5月28日	市川吉男	漫画本（33冊）	—
6月22日	匿名	姿見、茶箱（一式）	—
6月23日	匿名	高倍率ズームレンズ、LEDライト（各1個）	92,683
6月28日	神栄町女性部	日用品（多数）	—
9月25日	渡辺卓也	トイレットペーパー（1袋）	—
10月26日	匿名	訪問用車両（1台）	—
10月29日	信光実業(株)大町支店	カレンダー（29本）	—
11月27日	降旗章	りんご（20箱）	—
12月 8日	大北法人会大町支部	プロジェクター（1台）、モニター（1本）	100,000
12月 8日	日本禁煙友愛会大町支部	掃除機、シルバーカー（各1台）	51,537
12月23日	北沢学	門松（一対）	—
3月24日	大町市婦人会	お手玉（101個）	—
合 計	17件		344,220

※ 寄附物品は本会の事業で活用したほか、食品や消耗品は管内の福祉施設に配布しました。

## ■ 主要事業の実績

### I 地域福祉推進基盤の強化

地域で活躍する関係者の参加と協働の下、法人運営基盤の強化、地域福祉活動の財源確保、災害時支援体制の強化、生活課題の調査・研究、公益事業の推進に取り組み、地域福祉推進基盤の強化に努めました。

#### 1. 法人運営基盤の強化

地域福祉を推進する中核組織として、安定した法人運営に努めるとともに、各積立金を活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備、地域における生活支援活動の活性化等に努めました。

##### (1) 法人運営事業

4月の改選による新たな役員体制の下、会議や研修を開催しながら、経営管理の強化、内部統制・苦情解決機能の充実、働きやすい魅力的な労働環境の整備に取り組みました。

項 目	実施結果・内容
新任役員研修会の開催	○ 4月1日の役員改選により新たに就任した役員を対象に、各施設の見学と組織概要や事業活動・予算等についての研修を実施 ◆ 開催日時：4月24日 14:00～17:20 ◆ 参加人数：12人（理事9人、事務局職員3人）
地域社会の情勢に応じた会議の開催	○ 毎月第2火曜日に三役会を開催 ○ 毎月第4火曜日に所属長会議を開催 ○ 理事会5回、評議員会3回開催（詳細別記）
経営管理体制の強化	○ 毎月の所属長会議時に経営戦略会議を開催し、月次予算執行状況や四半期ごとの運営状況を把握しながら経営改善策を協議 ○ 水道光熱費の支出状況を前年同月比で把握しながら経費節減を徹底
内部統制機能の充実	○ 定期監査を実施し、指摘事項の改善策を実施（詳細別記） ○ 毎月の所属長会議時に安全衛生委員会を開催し、健康管理や事故防止の啓発と安全管理策を協議（詳細別記） ○ 番号法の施行に伴い、特定個人情報取扱規程を制定（10月5日施行）
苦情解決機能の充実	○ 各事業所に苦情受付担当者を配置し、利用者等からの意見・要望を拝聴・記録しながら、個別に対応・改善策を実施 ○ 苦情解決第三者委員を委嘱し、客観的相談体制を整備
働きやすい魅力的な労働環境の整備	○ 介護保険・障害福祉サービスの各事業所で処遇改善加算を取得し、非正規職員を対象に勤続手当と処遇改善手当を支給 ○ 平成27年度から2力年の次世代育成支援行動計画（第3回）を策定し、仕事と家庭の両立を図りやすい職場環境づくりを推進（概要別記） ○ 労働環境整備検討チームを組織し、労働関係法令改正等への対応や処遇改善についての検討体制を整備（次年度継続）

##### ● 理事会の開催状況

回数	期 日	内 容
第1回	4月1日	議案 第1号 会長・副会長の選任について 第2号 各部会委員の選任について 第3号 評議員の選任について



回数	期 日	内 容		
第2回	5月28日	報告	第1号	理事の選任について
		議案	第4号	平成26年度事業報告の認定について
			第5号	平成26年度決算の認定について
第3回	9月17日	議案	第6号	特定個人情報取扱規程の制定について
			第7号	正規職員就業規則の一部改正について
			第8号	期間任用職員就業規則の一部改正について
			第9号	非常勤職員就業規則の一部改正について
			第10号	平成27年度第1次補正予算について
第4回	11月27日	協議	第1号	平成27年度社会福祉功労者の選考について
			第2号	社会福祉法人改革の概要について
			第3号	(仮称) 成年後見支援センターの開設及び組織変更について
			第4号	福祉輸送サービス事業について
第5回	3月17日	報告	第2号	理事の選任について
		議案	第11号	定款の一部変更について
			第12号	成年後見支援センター運営規程の制定について
			第13号	成年後見支援センター運営委員会設置要綱の制定について
			第14号	成年後見支援センター運営委員会小委員会設置要綱の制定について
			第15号	法人後見業務実施要綱の制定について
			第16号	組織規程の一部改正について
			第17号	経理規程の一部改正について
			第18号	平成27年度第2次補正予算について
			第19号	平成28年度事業計画について
			第20号	平成28年度予算について

● 評議員会の開催状況

回数	期 日	内 容		
第1回	5月28日	報告	第1号	理事の選任について
		議案	第1号	平成26年度事業報告の認定について
			第2号	平成26年度決算の認定について
第2回	9月17日	報告	第2号	平成27年度社会福祉功労者の選考結果について
		議案	第3号	特定個人情報取扱規程の制定について
			第4号	正規職員就業規則の一部改正について
			第5号	期間任用職員就業規則の一部改正について
			第6号	非常勤職員就業規則の一部改正について
			第7号	平成27年度第1次補正予算について
第3回	3月17日	報告	第3号	理事の選任について
		議案	第8号	定款の一部変更について
			第9号	成年後見支援センター運営規程の制定について
			第10号	成年後見支援センター運営委員会設置要綱の制定について
			第11号	成年後見支援センター運営委員会小委員会設置要綱の制定について
			第12号	法人後見業務実施要綱の制定について
			第13号	組織規程の一部改正について
			第14号	経理規程の一部改正について
			第15号	平成27年度第2次補正予算について
			第16号	平成28年度事業計画について
			第17号	平成28年度予算について

● 定期監査の実施状況

期 日	指摘事項等	改善事項等
平成26年度 決算監査 5月20日	現金残高を定期的に複数人で確認し、金種表作成を作成すること	複数人で現金残高を確認し、9月末と3月末には金種表を作成
	職員の計画的な採用や配置転換について検討すること	中長期的な人事計画の策定を検討
	補助・受託事業の必要経費について明確な根拠に基づき折衝すること	予算要求時に経営状況と将来展望を提示
	報酬改定でより厳しい経営状況が想定される。収益の増減要因を分析し、経営改善をすること	四半期ごとに収支状況を把握するとともに、各事業所で収益の増減要因を分析・評価し、改善策を実施
平成27年度 中間監査 10月23日	市の所有備品の修繕・更新については個別に協議すること	使用上の過失の有無や、賃借料負担の有無等を考慮し、個別に協議
	一部介護保険事業の利用減少の要因を分析し、対策を検討すること	利用の増減に応じた職員配置と稼働調整を実施
	特色ある事業所の方向性や先を見通した合理化策について検討すること	予算編成時の事業概要調書に「らしさ」の項目を追加
	補助要求に当たり社協としての先駆的な取り組み方針を提示すること	平成28年度事業計画で有償ボランティアの仕組みづくりを通じた住民相互の生活支援モデルを提案

● 安全衛生委員会の開催状況

期 日	内 容	期 日	内 容
4月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ H27安全衛生管理体制</li> <li>○ 春の全国交通安全運動</li> <li>○ 私有車両借上契約更新</li> <li>○ 通勤車両の駐車場</li> <li>○ 職員定期健康診断</li> <li>○ 事故報告</li> <li>○ 産業医職場巡視の日程</li> </ul>	8月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事故報告の流れ</li> <li>○ 安全運転管理者法定講習報告</li> </ul>
		9月29日	○ 秋の全国交通安全運動
		10月27日	○ 交通事故報告
		11月24日	○ 年末の交通安全運動
		12月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年末年始無災害運動</li> <li>○ ストレスチェックの義務化</li> </ul>
5月26日	○ 交通事故対応	1月26日	○ 交通事故の発生状況
6月23日	○ 交通事故対応マニュアル	2月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難訓練の実施</li> <li>○ 借上車両の事故に対する補償</li> </ul>
6月30日 (総会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ H26事業報告</li> <li>○ H27事業計画</li> </ul>	3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春の全国交通安全運動</li> <li>○ 私有車両借上契約更新</li> <li>○ 業務用車両の車両保険付加</li> </ul>
7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ストレスチェックの概要</li> <li>○ 安全運転管理</li> <li>○ 職員健康診断（集団）</li> </ul>		

● 次世代育成支援行動計画（第3回）の概要

計画期間	平成 27～28 年度（2カ年）
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標① 年次有給休暇取得日数を平均 0.5 日増加（職員ごとの取得率の評価・分析）</li> <li>目標② 所定外労働を月平均 3 時間未満に（ノー残業デいの励行、業務の効率化）</li> <li>目標③ 職員相互が理解し合い、明るく働きやすい職場環境に（交流事業の実施ほか）</li> </ul>

【評価】

- 社会福祉法人としての組織基盤強化に努めたが、社会福祉法の改正により、これまで以上に経営組織の統制強化や事業運営の透明性が求められている。
- 経営戦略会議の光熱水費推移把握により節約意識が向上し、経費削減できた。
- 四半期ごとの運営状況報告により、利用状況と収支状況の傾向が把握できた。
- マイナンバー制度にいち早く対応し、特定個人情報取扱規程を制定するとともに、基本方針を示して個人番号の収集に着手できた。
- 労働環境の整備については、前年度の独自給与体系整備検討チームの提言を踏まえ、福祉人材の安定的確保に向け、更に検討を加えていく。

## (2) 資産管理事業

各積立金を有効活用し、福祉人材の確保、計画的な設備整備、地域福祉・生活支援活動の財源確保に努めました。

項 目	実施結果・内容												
福祉人材の確保 （人件費等積立金取崩：41,666千円）	<div>○ 役職員研修の実施：充当額153千円（詳細別記）</div> <div>○ 役職員福利厚生事業の実施：充当額2,125千円</div> <div>◆ 役職員福利厚生事業充当額の内訳（単位：千円）</div> <table><tr><td>産業医</td><td>健康診断</td><td>予防接種</td><td>制服貸与</td><td>共済会補助</td><td>慶弔見舞</td></tr><tr><td>300</td><td>817</td><td>347</td><td>101</td><td>459</td><td>101</td></tr></table> <div>○ 非正規職員の処遇改善：充当額17,174千円（詳細別記）</div> <div>○ 正規職員の退職共済：充当額10,265千円</div> <div>○ 介護保険・障害福祉サービス事業人件費補填：充当額6,829千円</div> <div>○ 次年度人件費支払資金繰越額を増額：充当額5,120千円</div>	産業医	健康診断	予防接種	制服貸与	共済会補助	慶弔見舞	300	817	347	101	459	101
産業医	健康診断	予防接種	制服貸与	共済会補助	慶弔見舞								
300	817	347	101	459	101								
計画的な設備整備 （施設整備等積立金取崩：3,855千円）	<div>○ 設備整備計画を更新（H28～30、概要別記）</div> <div>○ 車両1台を取得（デイみさか）：充当額1,155千円</div> <div>○ 障害福祉サービス事業所への寄附金120千円を主財源に自主製品販売用テント一式を整備：充当額95千円</div> <div>○ 車両6台をリース（デイみあさ1台追加）：充当額1,317千円</div> <div>○ エコキュートや車両、その他所有備品の故障・破損に伴う修繕を随時実施：充当額1,288千円</div>												
地域福祉・生活支援活動の財源確保 （地域福祉活動費等積立金取崩：4,950千円）	<div>○ 地域福祉・生活支援活動財源不足補填：充当額4,950千円</div> <div>◆ 対象事業充当額の内訳（単位：千円）</div> <table><tr><td>ふれあい福祉センター運営</td><td>ボランティアセンター運営</td><td>日常生活自立支援事業</td><td>資金貸付事業</td></tr><tr><td>3,669</td><td>528</td><td>108</td><td>645</td></tr></table> <div>○ 新たな地域生活支援の仕組みづくりに向けた組織体制を検討（平成28年度より地域福祉係に有償ボランティア担当者1人増員を決定）</div>	ふれあい福祉センター運営	ボランティアセンター運営	日常生活自立支援事業	資金貸付事業	3,669	528	108	645				
ふれあい福祉センター運営	ボランティアセンター運営	日常生活自立支援事業	資金貸付事業										
3,669	528	108	645										

### ● 役職員研修の実施状況

期 日	内 容	会 場
6月3日	新任市町村社協事務局長研修会（事務局長）	県総合教育センター
6月19日	障害福祉サービス従事者新人研修（ハーモニー1人）	山形村トレーニングセンター
6月20日、8月1日	移送サービス運転者講習会（美麻センター1人）	中南信運輸免許センター
6月25・26日、7月2日、8月5・6日	障がい者相談支援従事者初任者研修（ハーモニー1人）	キッセイ文化ホール 塩尻総合文化センター
7月14・15日、8月11日	介護支援専門員更新研修（居宅介護支援1人）	県社会福祉総合センター
7月16・17日	関東ブロック社協職員合同研究協議会（正規1人）	ホテルトリオ 長野
8月3日	SST講演会・ワークショップ（多機能型2人）	池田町総合福祉センター

期 日	内 容	会 場
9月4日	マイナンバー研修（総務企画1人）	塩尻市えんぱーく
9月9日	長野県社会福祉大会（役員・事務局職員17人）	須坂市文化会館メサホール
9月11・12日	市町村社協職員マネジメント研修（総務企画1人）	松本市みやま荘
10月15・16日	市町村社協事務局長研究協議会（事務局長）	県安曇野建設事務所
10月30日	災害ボランティア合同研修（総務企画2人）	茨城県常総市
11月4日	苦情解決システム研修会（第三者委員・事務局職員3人）	伊那文化会館
11月5日	生活支援コーディネーター養成研修（地域福祉1人）	松本市総合社会福祉センター
11月14日	アートサポート養成講座（ハーモニ―1人）	サントピア豊科
11月25日	社会福祉法人トップセミナー（正副会長・事務局長）	県総合教育センター
11月25・26日	障がい者相談支援従事者初任者研修（多機能型1人）	浅間温泉文化センター
11月26・27日	調理技術向上研修（訪問介護）※	大町市中央保健センター
11月30日	介護技術向上研修（訪問介護・デイこすもす）※	大町市総合福祉センター
12月4日	地域総合相談推進セミナー（心配ごと相談員・事務局職員8人）	浅間温泉文化センター
2月12日	社会福祉法人制度改革対応セミナー（役員・事務局職員13人）	浅間温泉文化センター
12月20日	健康運動・脳トレクリエーション実践セミナー（デイこすもす1人）	浅間温泉文化センター
1月7・26・27日、 2月16・17日	サービス管理責任者研修（介護・就労） （多機能型1人）	浅間温泉文化センター 長野市生涯学習センター
2月25・26日	障害者支援のための研修Ⅱ（多機能型1人）	J A長野ビル
2月8日	腰痛予防研修（訪問介護）※	大町市総合福祉センター
2月24・25日	甲種防火管理者新規講習	松本市総合社会福祉センター
2月27日、3月5日	移送サービス運転者講習会（美麻センター1人）	長野市いつわ苑
3月9日	農業就業チャレンジ研修（多機能型1人）	県社会福祉総合センター

※ 内部研修

● 定期健康診断等の実施状況

実施方法	個別健診	集団健診
対 象 者	35歳以上で健康保険に加入している職員	週労働時間20H以上で、個別健診の対象とならない職員
期 日	8月～2月の指定予約日	8月7日（金）
実施場所	市立大町総合病院	総合福祉センター
受診者数	85人	25人

● 産業医の職場巡視の実績

事業場	総合福祉センター	八坂総合福祉センター	美麻総合福祉センター	デイサービスセンター ひなたぼっこ
期 日	10/27、2/16	8/25、1/26	9/29、12/22	7/28、11/24

● 勤続手当・処遇改善手当の支給実績

名 称	勤続手当	処遇改善手当
算定方法	4月1日現在の勤続年数に応じた月額 （1年：250円、2年：500円、3年：1,000円、以後1年につき1,000円ずつ加算、最高8,000円）	介護報酬及び自立支援給付費の半期ごとの処遇改善加算額を、対象職員の労働時間に応じて配分 ◆ 介護職員6月78円・12月148円/時 ◆ その他職員6月39円・12月74円/時
支給対象者	勤続1年以上の嘱託・臨時・非常勤職員	嘱託・臨時・非常勤・登録職員
支給時期	毎 月	6月・12月
支給実績	2,846,336円	12,765,953円



● 施設・設備等整備計画の概要

計画期間	平成 28～30 年度（3カ年）	
主な内容	○ 自己資金（設備整備等積立金）による整備計画	
	H28：軽車両 1 台取得、車両 7 台リース、一般修繕費ほか	4,669 千円
	H29：送迎用車両 1 台・軽車両 3 台取得、一般修繕費ほか	13,728 千円
	H30：軽車両 1 台取得、システム機器更新、一般修繕費ほか	5,828 千円
		合計 24,225 千円
	○ 大町市への整備要望	
	H28：循環ろ過装置ろ材交換、空調設備消耗部材交換ほか	2,595 千円
	H29：特殊浴槽更新、外壁・屋根補修工事、電話設備更新ほか	46,590 千円
	H30：空調設備改修工事、特殊浴槽更新、屋根補修工事ほか	110,260 千円
		合計 159,445 千円

【評価】

- 福祉人材の確保については、今後の介護需要の増大に伴う人手不足が見込まれることから、介護業界共通の課題として他の事業者とも連携しながら対策を講じていく。
- 人件費積立金の取崩額が過大になっていることから、経理規程の一部を改正し、新たに処遇改善事業と退職共済事業の会計区分を設定し、平成 28 年度以降は各事業からの繰入金を主財源とし、不足分のみを取崩すこととした。
- 設備整備については、各事業所に施設・設備等整備要望書の提出を求め、計画書として取りまとめることで、計画的な設備投資の共通認識を持つことができた。
- 介護報酬改定による収益減少に伴い、積立金が減少傾向にあることから、収入確保に努めるとともに、福利厚生や退職共済の見直しも含めた経費節減策を講じていく。

わたしのね ともだちみんな たからもの

（大町西小学校 3 年 柳原 都月さん）

地域活動 笑顔で参加 人とのつながり 地域を知ろう

（大町南小学校 6 年 菅沢 侑希さん）

差しのべる 小さな手だけど 暖かい

（仁科台中学校 1 年 太田 彩音さん）

平成 27 年度 福祉啓発標語最優秀作品



## 2. 地域福祉活動の財源確保

地域内の生活課題に取り組む住民主体の活動を支援するため、必要となる財源の確保に取り組みました。社協会員組織の強化と、赤い羽根共同募金運動を推進しました。

### (1) 会員組織強化事業

社協会費の使途を分かりやすく広報し、会員組織の強化を図りました。会費は、ボランティア団体や地区社協・小地域福祉ネットワークの活動助成など、地域福祉の推進に活用しました。

項 目	実施結果・内容
会員確保と加入促進	<p>○ 一般会員（1世帯当たり年額600円）：7,500世帯を目標に、4～5月、自治会長等に納入依頼文・チラシを送付し、協力を依頼</p> <p>○ 特別会員（1人当たり年額3,000円）：740人を目標に、7～8月、前年度会員等に納入依頼文・チラシを送付し、民生委員に取りまとめの協力を依頼</p> <p>○ 「社協おおまち」に記事を掲載。4月号に一般会員、8月号に特別会員募集について掲載。12月号には特別会員名簿を掲載。</p>

### ● 年度別会員別会費集計表（過去5カ年）

（単位：円）

年度	一般会員（一般会費）			特別会員（特別会費）		
	世帯数	金 額	前年比	人 数	金 額	前年比
H23	7,987	4,792,200	100.2%	754	2,262,000	100.8%
H24	7,859	4,715,400	98.4%	771	2,313,000	102.3%
H25	7,744	4,646,400	98.5%	766	2,298,000	99.4%
H26	7,673	4,603,800	99.1%	771	2,313,000	100.7%
H27	7,602	4,561,200	99.1%	759	2,277,000	98.4%

#### 【評価】

- 一般会費の納入場所の利用割合は、市役所の総合納入窓口が25%、大町市総合福祉センターが46%、平・常盤・社の各公民館が29%であった。（八坂地区は八坂総合福祉センター、美麻地区は美麻総合福祉センター）自治会からは「1カ所で納入できる総合納入窓口はありがたい」との声があった。
- 一般会費・特別会費ともに目標は上回ったが、前年度に対しては若干下回る結果となった。引き続き、地域に根差した社協事業への理解と周知を図り会員確保に努める。

㊦れあいを大切に ㊧るしいときは助け合い ㊨あわせな地域社会を！

（仁科台中学校3年 遠藤 春紀さん）

となり組 強い絆で 福祉と日頃の和

（一般の部 山崎 一彦さん）

平成27年度福祉啓発標語入選作品

## (2) 赤い羽根共同募金運動推進事業

共同募金は、都道府県を単位とする共同募金会が実施主体となり、各市町村はその支部組織として活動を行っており、当市も含め大半の市町村では、社協が事務局を担っています。

長野県共同募金会では、「地域をつくる市民を応援する共同募金への転換」に向けた改革を進めており、各種募金活動を展開しながら、組織改変への対応を行いました。

項 目	実施結果・内容
募金目標額を達成する運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 啓発用ポケットティッシュを作成し、街頭募金等で活用</li> <li>○ 「松本山雅」協力のもと、共同募金会松本市支会と協働でポスターを作成し、市内商店街を中心に掲示</li> <li>○ 市民ふれあい広場内29ブースに募金箱を設置（実績165,262円）</li> </ul>
街頭募金の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内3小学校へ協力を依頼し、各校の児童参加により10月3日（土）に市内大型店2カ所で実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ザ・ビッグ信濃大町店（西、東小学校児童参加）</li> <li>◆ カインズホーム大町店（南小学校児童参加）</li> </ul> </li> <li>※ 市民ふれあい広場会場内で北小学校児童参加による街頭募金を予定していたが、小学校行事と重なり中止</li> </ul>
配分事業の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自治会等の防災活動に対する「安心安全なまちづくり活動支援公募配分」の交付団体への目録贈呈式を4月28日（火）に開催</li> <li>○ 戸別募金依頼の際、配分金の活用先や活動内容を記載した依頼文を配布するとともに、自治会等が活用できる配分事業を周知</li> </ul>
広報・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社協報に共同募金の活用内容を掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 176号（6/1）安心安全なまちづくり活動支援公募目録贈呈式</li> <li>◆ 178号（10/1）募金運動の開始</li> <li>◆ 180号（2/1）募金のお礼、大口寄付者名簿</li> </ul> </li> </ul>
組織改変への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成28年4月組織改変を目標に、「組織のあり方検討会」を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第1回 11/20開催（新組織会則、組織構成団体について）</li> <li>◆ 第2回 2/19開催（組織構成団体について）</li> </ul> </li> <li>○ 3月11日開催の共同募金会大町市支会会議で検討会の提案を説明し、平成28年4月1日より新組織（共同募金委員会）への移行を承認</li> </ul>

### ● 募金実績の推移

（単位：万円）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
募金額（送金額）	993	975	979	969	952

### ● 平成 27 年度共同募金配分金の内訳

（単位：円）

配分先		高齢者 福祉活動	障害児・者 福祉活動	児童・青少年 福祉活動	住民全般 福祉活動	合 計
ア 地区社協	大町地区	582,857	50,000	260,000	620,000	1,512,857
	平地区	165,000	50,000	226,642	569,000	1,010,642
	常盤地区	352,401	30,000	540,000	450,000	1,372,401
	社地区	338,698	0	30,000	150,000	518,698
	八坂地区	200,000	10,000	40,000	107,500	357,500
	美麻地区	63,817	10,000	45,000	68,000	186,817
イ市社協		237,000	415,000	0	2396,647	3,048,647
合 計		1,939,773	565,000	1,141,642	4,361,147	8,007,562

● 平成 27 年度市社協配分金事業の内訳

(単位：円)

事業名	配分金額	事業名	配分金額
福祉団体助成事業	330,000	希望の旅事業	254,283
市民ふれあい広場開催事業	500,000	福祉輸送サービス事業	286,346
社協報発行事業	1,129,682	心配ごと相談事業	93,240
災害見舞金等給付事業	65,000	ボランティアニュース発行事業	390,096
合 計			3,048,647

【評価】

- 「安心・安全なまちづくり公募配分」には、10団体から申請があり、すべて申請どおりに配分決定された。また、初開催の目録贈呈式により配分事業の周知を図ることができた。引き続き周知に努めていく。
- 全国的に募金額が減少を続けており、当市においても同様の状況にある中で、「組織のあり方検討会」を開催して組織改革に取り組み、新組織への移行準備ができた。
- 街頭募金活動への児童の参加が難しい状況にあり、見直しが必要である。



「安心安全なまちづくり活動支援公募配分」目録贈呈式（4/28 総合福祉センター）



市内小学生参加による街頭募金運動（10/3 ザ・ビッグ信濃大町店）

募金して 人に役立つ 赤い羽ね

（大町南小学校6年 西澤 朋哉さん）

平成 27 年度福祉啓発標語入選作品

### 3. 災害時支援体制の強化

各種研修による、大町市、県社協、大北ブロック社協等関係機関との連携体制づくりや、災害対応訓練を行い、災害時の支援体制整備を図りました。

項 目	実施結果・内容
災害対応用品の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボランティア基金を活用し、階段避難車2台、ヘルメット100個、ファスナービブス100枚を整備</li> <li>○ 長野県社協の「災害初動時資機材整備事業」により、大北ブロック社協に、倉庫、発電機、高圧洗浄機、一輪車、スコップ、土嚢袋、ヘルメット、ジョレンを整備（大町市社協内）</li> </ul>
市災害対策本部との連携体制の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大北ブロック内の連携強化を図るため、新たに、「大北ブロック社会福祉協議会規約」並びに「大北ブロック社会福祉協議会災害時相互応援確認書」を締結</li> <li>○ 池田町社協主催の「大北ブロック災害研修」（職員3人）並びに長野県社協主催の「常総市災害ボランティアセンター合同研修」（職員2人）参加し、関係機関との連携体制を確認</li> </ul>
災害時職員初動マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害への意識を高めるため、各部署に「社協職員初動マニュアル」を含む「社協職員防災危機管理ハンドブック」を配布</li> <li>○ 8月29日の大町市地震総合防災訓練に合わせ、大町・八坂・美麻各総合福祉センターを拠点に、災害時職員初動マニュアルに沿った職員参集訓練を実施</li> </ul>
遠隔地社協との相互応援体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姉妹都市である氷見市社協と応援態勢の方法について検討していくことを確認</li> </ul>

#### ● 義援金の募集・送金状況

送金日	金 額（円）	義援金の内容
7月31日	29,500	2015ネパール地震救援金
9月30日	21,350	長野県神城断層地震災害義援金
11月30日	4,220	平成27年台風18号等大雨災害義援金
12月25日	2,100	屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金
1月12日	47,046	東日本大震災義援金
3月15日	12,510	2016台湾地震救援金
合 計	116,726	

#### 【評価】

- 職員参集訓練を継続的に実施し、非常時における社協内の連絡体制を確立していく。
- 整備された資機材を活用した災害ボランティアセンター設置訓練や、福祉避難所運営訓練を実施し、日頃から職員の防災意識を高めていく。

ボランティア あなたの力を 役立てよう

（仁科台中学校1年 大竹 桃末さん）



#### 4. 生活課題の調査・研究

小地域福祉ネットワークを中心に市内介護保険事業所や一般住民に広く参加を呼びかけ、介護保険制度改正による地域活動への影響や地域に必要な活動についての調査・研究を行いました。

項 目	実施結果・内容
介護保険制度改正の影響調査・分析	<p>○ 市地域包括支援センターとの共催により、介護保険制度改正による地域活動についての勉強や意見交換を行う「包括ケアゼミ」を開催</p> <p>◆ 6月18日（木） 包括ケアゼミ 講演「介護保険事業所を対象とした地域住民との連携について」 講師 松本大学 佐藤哲郎 氏</p> <p>◆ 7月2日（木） 小地域福祉ネットワーク交流会 基調説明「介護保険改正による影響」市地域包括支援センター グループワーク「サロン活動と生活支援活動について」</p> <p>◆ 9月15日（火） 包括ケアゼミ 講演「介護保険改正による地域活動のあり方」 講師 松本大学 佐藤哲郎 氏</p> <p>◆ 11月30日（月） 小地域福祉ネットワーク勉強会 グループワーク「模擬地域ケア会議」</p> <p>◆ 2月4日（木） 地域包括ケアゼミ 講演「生活支援コーディネーター初任者研修」 講師 さわやか福祉財団 丹 直秀 氏 県生活支援コーディネーター養成研修講師 杉山 逸人 氏 松本大学 佐藤 哲郎 氏</p>

##### 【評価】

- 介護保険改正による地域の影響を含めこれからの地域福祉活動について、地域住民とともに学ぶ機会を多く設定し、小地域福祉ネットワークを中心とした地域の意見を多く聞くことができた。
- 生活支援活動については、地域住民が自主的に支援を行うことには限界があり、なにかしらの仕組み制度が必要との意見が多く、平成 28 年度において「有償ボランティア」の仕組みづくりを行うことにつながった。



小地域福祉ネットワーク勉強会「模擬地域ケア会議」（11/30）



## 5. 公益事業の推進（指定管理施設の管理運営等）

指定管理施設の経営方針「誰もが安心して利用できる地域に根差した良質な施設経営」に従い、総合福祉センター3施設の管理運営を行いました。

項 目	実施結果・内容																																									
良質な施設サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 利用者へのあいさつ及び親切な声がけを励行</li><li>○ 一斉環境美化・緑化活動を実施（ごみ拾い、草取り、花植え等）<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 5～10月の第1金曜日 8:00～8:30</li></ul></li><li>○ ホームページや広報により、施設の利用方法を周知</li><li>○ 3施設とも館内を禁煙とし、屋外に喫煙所を設けて分煙を徹底するとともに、掲示等により喫煙マナーを啓発</li></ul>																																									
施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 設備の定期点検・保守点検を実施<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 灯油地下タンク気密試験（八坂・美麻各1回）</li><li>◆ 防災・防災設備点検（3施設各2回）</li><li>◆ 電気設備点検（大町・美麻各6回 ※八坂は支所で実施）</li><li>◆ 給排水・空調設備点検（3施設各1回）</li><li>◆ 自動ドア点検整備（3施設各3回）</li><li>◆ エレベータ点検整備（大町4回 ※遠隔点検は毎月）</li></ul></li><li>○ 日常清掃（通年）・特殊清掃（大町2回、八坂・美麻1回）を実施</li><li>○ 施設・設備の破損・故障への迅速な対応と計画的整備（内訳別記）</li><li>○ 大町市に次年度以降3カ年の整備要望書を提出</li><li>○ 電気料・燃料費の節減<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 電気料・燃料費支出実績（単位：千円）</li></ul></li></ul> <table><tr><th rowspan="2">施設</th><th colspan="3">電気料</th><th colspan="3">燃料費</th></tr><tr><th>当年</th><th>前年</th><th>増減</th><th>当年</th><th>前年</th><th>増減</th></tr><tr><td>大町</td><td>6,697</td><td>7,707</td><td>▲1,010</td><td>1,511</td><td>2,450</td><td>▲939</td></tr><tr><td>八坂</td><td>287</td><td>284</td><td>3</td><td>83</td><td>115</td><td>▲32</td></tr><tr><td>美麻</td><td>1,558</td><td>1,764</td><td>▲206</td><td>253</td><td>339</td><td>▲86</td></tr><tr><td>合計</td><td>8,542</td><td>9,755</td><td>▲1,213</td><td>1,847</td><td>2,904</td><td>▲1,057</td></tr></table> <p>※ 電力デマンド監視により契約電力（基本料金）を節減（大町）</p>	施設	電気料			燃料費			当年	前年	増減	当年	前年	増減	大町	6,697	7,707	▲1,010	1,511	2,450	▲939	八坂	287	284	3	83	115	▲32	美麻	1,558	1,764	▲206	253	339	▲86	合計	8,542	9,755	▲1,213	1,847	2,904	▲1,057
施設	電気料			燃料費																																						
	当年	前年	増減	当年	前年	増減																																				
大町	6,697	7,707	▲1,010	1,511	2,450	▲939																																				
八坂	287	284	3	83	115	▲32																																				
美麻	1,558	1,764	▲206	253	339	▲86																																				
合計	8,542	9,755	▲1,213	1,847	2,904	▲1,057																																				
安心・安全かつ平等な施設運営	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 独自財源（ボランティア基金）により階段避難車2台を導入（大町）</li><li>○ 設置業者の協力により災害時飲料提供型自動販売機を導入（大町）</li><li>○ 避難訓練・防災訓練を実施（3施設各2回）</li><li>○ 防犯・トラブル防止のため、随時巡回と掲示を実施（3施設）</li><li>○ 公衆浴場で事故が4件発生し、救命措置と緊急搬送を実施（大町）</li></ul>																																									



一斉環境美化・緑化活動（6/5 総合福祉センター）

項 目	実施結果・内容
利用者ニーズの把握とサービスへの反映	○ 大町市総合福祉センター運営懇話会の開催（7月24日） ◆ 前年度利用状況・事故発生状況・施設設備整備状況の報告 ◆ 施設の利用促進について ◆ 利用者の声（意見箱）の回答について ◆ 施設・設備等の整備計画について ○ 管理日誌により利用者からの意見・要望を受け付け、随時対応
施設の利用者増加策の実施	○ 公衆浴場の無料開放デーの設置（実施日、利用者数） ◆ 子どもの日（5月5日 217人 ※歴代2位） ◆ 敬老の日前日（9月20日 167人） ◆ 新年初営業日（1月3日 144人 ※ おしるこ振る舞い実施） ○ 年末年始の公衆浴場臨時営業 ◆ 12月29日（10:00～17:00 利用者71人） ◆ 12月30日（10:00～17:00 利用者86人） ◆ 1月3日（13:00～17:00 利用者144人）
その他施設の利活用等	○ 大町1階エントランスホールの市民への開放 ◆ セタコンサート開催（7月3日）

● 各施設の利用状況 (単位：団体)

施設名	項 目	開設日数	利用実績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	311日	延べ29,356人(94.4人/日)
	会議室等貸館	360日	延べ2,042団体(5.7団体/日) 延べ19,306人(53.6人/日)
八坂総合福祉センター	デイサービス	259日	延べ4,614人(17.8人/日)
美麻総合福祉センター	デイサービス	259日	延べ4,289人(16.6人/日)
	会議室等貸館	259日	延べ51団体(0.2団体/日) 延べ1,305人(5.0人/日)

● 公衆浴場利用者の推移（大町） (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
一 般	7,600	8,943	8,822	7,102	6,849
6 5 歳 以 上	17,159	18,290	19,099	19,310	19,164
障 害 者	2,481	1,905	2,210	1,844	2,199
小 中 学 生	869	1,021	1,306	906	1,016
優 待 券	2,055	1,873	315	140	128
合 計	30,164	32,032	31,752	29,302	29,356
利用料収入（千円）	6,974	7,252	7,173	6,474	6,256

● 貸館利用状況の推移（大町） (単位：団体)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
貸館利用団体数	2,267	2,260	2,268	1,988	2,042
貸館利用人数	19,545	20,554	19,979	20,293	19,306

● 各施設の設備・備品等修繕実施状況

施設	破損・故障箇所	修繕内容	費用（円）
大町	公衆浴場男女サウナストーブ不良	ストーブ交換	132,840
	公衆街路灯点灯不良	タイマー交換	15,120
	1階ホールロールスクリーン昇降不良	スクリーン交換	19,980
	事務室・作業室ブラインド昇降不良	ロープ交換	14,040
	非常用発電機作動時異常停止	センサー交換	92,124
	公衆浴場シャワー水栓温度調整不能	部品交換	13,932
	正面玄関自動ドアベルト摩耗・プーリー破損	部品交換	43,200
	作業室エアコン漏水	排水管交換	28,080
	厨房食器洗浄機漏水	排水管交換	31,266
	公衆浴場男湯サウナ壁面・座面腐食	板張替	44,749
	トイレ・喫茶換気扇異音（3か所）	換気扇交換	97,200
八坂	床暖房コントローラ不能	コントローラ交換	125,280
	浴室前トイレ便座漏水	部品交換	23,220
	機械室滅菌器動作不良	部品交換	10,044
美麻	床暖房タイマー故障	部品交換	75,600
	車庫シャッタースイッチ故障	部品交換	25,110
合 計			791,785

● 各施設の設備・備品等整備実績（前年度繰越金及び電気料・燃料費節減分を財源に実施）

施設	整備箇所・内容	支出科目	費用（円）
大町	公衆浴場男女脱衣室扇風機更新（2台）	消耗器具備品費	69,120
	// 男女脱衣室冷水機設置	//	334,800
	// 男湯浴室洗い場鏡交換（9枚）	//	66,096
	// 男湯脱衣室貴重品ロッカー設置	//	158,414
	喫茶・食堂・すずらん・たんぽぽ畳表替え	手数料	167,400
八坂	合併浄化槽放流ポンプ更新（1台）	消耗器具備品費	90,720
	管理事務室照明LED化	//	151,632
美麻	厨房業務用冷凍冷蔵庫更新（1台）	//	486,000
	エントランスホール暖房器具更新（1台）	//	56,160
	男女洋式トイレウォシュレット化（4台）	//	296,200
	デイサービスセンター畳表替え	手数料	135,000
合 計			2,011,542

【評価】

- 電力デマンド監視システム導入等による使用電力の節減や燃料価格の下落により、電気料及び燃料費が大幅に削減でき、これらを財源とした設備・備品整備が実施できた。
- 各事業所に担当エリアを割り振り、それぞれのアイデアで環境美化・緑化活動ができた。
- 公衆浴場の利用者は減少傾向にあったが、利用増加策（家族ふれあいサービス・無料開放デー・年末年始臨時営業）の定着により昨年を上回ることができた。
- 各施設とも老朽化が進んでおり、大町市に次年度以降3カ年の整備要望書を提出したが、内容を更に精査するとともに、今後とも計画的な整備を要望していく。

## Ⅱ お互いさまのまちづくり

お互いさまのまちづくりのため、地域における支え合い活動とボランティア活動の推進に取り組みました。

### 1. 地域における支え合い活動の推進

地域にある生活課題の掘り起こしと助け合い活動の活性化のため、ご近所支え合い事業、小地域福祉ネットワーク事業、地区社協連携強化事業に取り組むとともに、市民ふれあい広場を開催しました。

#### (1) ご近所支え合い事業

日頃からの地域住民による支え合いが災害時への大きな備えとなることから、防災意識の向上と住民自らが地域の課題を把握しその課題に向き合うことを目的として、「災害時住民支え合いマップ作成」を推進しました。

項 目	実施結果・内容
災害時住民支え合いマップづくりの支援	○ マニュアルを活用した支え合いマップの作成支援と説明会を実施 ◆ 作成支援実施地区（5地区延べ9回） 上一自治会、西山自治会、泉自治会、十日町自治会、大塩自治会

#### ● マップ作成自治会数の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
マップ作成自治会数	11	14	15	19	23

#### 【評価】

- 災害対策基本法改正に伴い、市から要配慮者名簿が配布されることになったが、実際に名簿の配布を希望する自治会は少なく、本年度マップ作成に取り組んだ地区でもほぼ名簿は使わずに作成している。
- マップ作成後に「防災についての検討会」を立ち上げ、住民自ら検討を進めている地区が生まれた。
- 全国的に多くの災害が発生していることから、今後もマップづくりを通して、防災・減災意識の高揚を図っていく。



支え合いマップ作成研修会（11/8常盤地区泉自治会）



## (2) 小地域福祉ネットワーク事業

既存のネットワークを対象とした研修会を開催するとともに、未設立や休会中の地区に対する説明会を開催し、小地域活動を推進しました。

項 目	実施結果・内容
ネットワーク研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ネットワークを対象とし研修会と勉強会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 研修会：7月2日、勉強会：11月30日</li> </ul> </li> <li>○ 市地域包括支援センターとの共催で、介護保険改正による地域への影響等についての研修会を開催し、多くのネットワーク関係者が参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域包括ケアゼミ：6月18日、9月15日、2月4日</li> </ul> </li> </ul>
ネットワーク活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ネットワーク立上げについての説明会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 説明会開催地区：大塩（新規）、旭町（再開）</li> </ul> </li> <li>○ 今後の活動に関する意見交換のため、既存のネットワークを訪問 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 訪問地区：十日町/大新田町/南原町/高見町/三日町/堀六日町/俵町</li> </ul> </li> </ul>
ネットワーク活動の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報紙に各地域のネットワークのサロン活動を掲載 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 176号（6/1）4地区のサロン活動等</li> <li>◆ 177号（8/1）1地区のサロン活動等</li> <li>◆ 179号（12/1）1地区の交流活動等</li> <li>◆ 180号（2/1）1地区のサロン活動等</li> </ul> </li> </ul>

### ● ネットワーク数の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
ネットワーク数	41	42	43	46	46

#### 【評価】

- 各種研修会を開催する中で、ネットワーク関係者から今後の地域活動に関するさまざまな意見があり、次年度以降の事業計画に反映することができた。
- これからの福祉は、専門職と地域とが一体となって進めていくことが重要であり、ネットワークへの訪問活動を充実・強化していく。



小地域福祉ネットワーク研修会（7/2 平公民館）



### (3) 地区社協連携強化事業

住民主体で地域活動を行っている市内6地区社協との連携強化に努めました。

項 目	実施結果・内容
地区社協連絡協議会の開催	連絡協議会は開催せず、日常的に各地区社協担当者との密接な連絡調整を実施
地区社協役員研修会の開催	役員のみを対象とした研修会は開催せず、住民向けの介護保険改正に関する各種研修会を開催

#### ● 地区社協事務局の運営状況

大町・八坂・美麻地区社協の事務局として各地区社協事業の運営を支援しました。

(※平・常盤・社地区社協は、各公民館が事務局)

項 目	実施結果・内容
大町地区社協	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 一人暮らし高齢者初夏の日帰りバス旅行（富山方面 106 人参加）</li> <li>◆ ふれあいいきいきサロン（年 46 回 延べ 1,019 人参加）</li> <li>◆ 大町地区敬老会支援（実行委員会への参画及び補助金交付）</li> <li>◆ 単位老人クラブを対象とした交流事業への補助（2 地区）</li> </ul> </li> <li>○ 障がい児・者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ レクリエーション交流会（西小児童クラブとの交流 52 人参加）</li> </ul> </li> <li>○ 児童・青少年に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 三世代交流事業（年 3 回子どもまつり、保育園わら細工、児童センター）</li> <li>◆ 児童センターまつり共催</li> <li>◆ 単位子ども会を対象とした交流事業への補助（6 地区）</li> </ul> </li> <li>○ 住民全般に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小地域福祉ネットワークへの補助（21 地区）</li> <li>◆ 広報紙発行（年 2 回）</li> </ul> </li> </ul>
八坂地区社協	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 八坂支所との共催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ サロン（5～2 月に 14 会場で 44 回開催 延べ 220 人参加）</li> <li>◆ いきぬき体操教室（33 回開催）</li> </ul> </li> <li>○ 高齢者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ひとり暮らしの会（5 回開催 延べ 52 人参加）</li> <li>◆ 八坂地区敬老会への協力・助成</li> </ul> </li> <li>○ 地域福祉、福祉教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 八坂小中学校普及校助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 小学校（みさかでの花壇づくりと高齢者との交流、花の苗作りと地域への頒布）</li> <li>② 中学校（ガードレール磨き、ふるさと清掃、やまびこまつり等）</li> </ul> </li> <li>◆ ボランティア団体及び各種団体の助成</li> <li>◆ みさか納涼祭開催（三世代交流事業 7/24 開催 170 人参加）</li> </ul> </li> <li>○ 地域団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 八坂地区老人スポーツ大会への協力（7/2 開催 135 人参加）</li> </ul> </li> <li>○ 住民全般に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小地域福祉ネットワークへの補助（3 地区）</li> <li>◆ 広報紙発行（年 2 回）</li> </ul> </li> </ul>

項 目	実施結果・内容
美麻地区社協	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ミニあそびり（軽体操・レクリエーション38回 延べ308人参加）</li> <li>◆ 買い物ツアー（3回開催 延べ4人参加）</li> <li>◆ 一人暮らしの集い（1回開催 17人参加）</li> <li>◆ 学校給食を食べに行く会（6回開催 延べ31人参加）</li> <li>◆ 高齢者会食会（1回開催 20人参加）</li> <li>◆ 梨嶺美容院（6回開催 延べ38人参加）</li> <li>◆ 美麻地区敬老会への協力（9/18開催 82人参加）</li> </ul> </li> <li>○ 障がいに関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ あそびり教室（2回開催 19人参加）</li> </ul> </li> <li>○ 児童・青少年に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ お手伝いし隊（春・夏休みに計8回開催 延べ131人参加）</li> <li>◆ 社会福祉普及校補助</li> <li>◆ 子ども会育成会</li> </ul> </li> <li>○ 地域福祉ボランティアに関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ いきいきサロン支援（1地区）</li> <li>◆ 美麻ふれあいまつり（8/22開催 約183人参加）</li> <li>◆ 災害時住民支え合いマップの推進</li> <li>◆ 広報紙の発行（3回）</li> <li>◆ 美麻サポーター養成講座（17人参加、こまちゃん宅福便視察）</li> </ul> </li> </ul>

【評価】

- 単位老人クラブ、子ども会を対象とした交流事業に対する補助金については、手続きを見直し、広く広報していく。（大町地区）
- 小地域福祉ネットワーク活動は、各地区とも内容が充実し、住民参加が定着している。
- サロンは、地域住民が心待ちにしている。参加者の中には一人暮らしの高齢者もあり、閉じこもり予防や介護予防に十分つながっていると考えられる。（八坂地区）
- 小地域福祉ネットワーク活動で支え合いの気運が定着してきた。
- 地区住民とお手伝いし隊の児童、デイ利用者が参加し、健康と長寿を願い長いのり巻き寿司で交流を図ることができた。
- 全自治会が、「災害時住民支え合いマップ」の作成に取り組んだ。（美麻地区）



大町地区社協三代交流事業「親子でカレー作り」（11/15 大町市児童センター）

#### (4) 市民ふれあい広場の開催

福祉、子育て、健康、生活環境など、さまざまな分野の参加団体からなる実行委員会を組織し、「市民ふれあい広場」を開催しました。模擬店やステージ発表など、盛りだくさんの催しを企画し、出会い・交流の場を提供しました。

項 目	実施結果・内容
実行委員会組織による企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幹事会を開催（5月15日）</li> <li>○ 実行委員会を開催（第1回：7月15日、第2回：9月29日）</li> <li>○ 会場の前日準備（10月9日）</li> <li>○ 市民ふれあい広場当日（10月10日）</li> </ul>
ステージ発表、各ブースの出演	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特設ステージ（おらほのラジオ体操（開会前）、オープニングセレモニー（社会福祉功労者表彰等）、ふれあいステージ（開会后）） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ふれあいステージ参加団体（7団体） <p>障害福祉サービス事業所ひまわり・たんぽぽ・すずらんコンサート/大町北高吹奏楽部演奏/特別養護老人ホームカトレヤバンド演奏/フィリピンダンスチーム「サンパギータ」/おおまびょんのおお！マーチde体操/大町のおどり「大町のおどり披露」/ボランティアコミュニティ アッサンブレ</p> </li> </ul> </li> <li>○ 会場内（食べ物の振る舞いや販売、障がい者施設やボランティア団体等の自主製品の販売等） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 参加団体：52団体、コーナー数：49コーナー</li> </ul> </li> </ul>
事業の企画・運営を通じた参加団体同士の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会場内に募金箱や義援金箱を設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 赤い羽根共同募金：各コーナー等に募金箱29箱を設置（募金額165,262円）</li> <li>◆ 義援金：大町市社会福祉協議会関係のコーナーに各災害の義援金箱3箱を設置（東日本大震災19,160円、台風18号1,518円、神城断層地震6,450円 ※日本赤十字社、赤十字奉仕団美麻分団に送金）</li> </ul> </li> </ul>

#### ● 参加団体数の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
参加団体数	55	60	59	53	52



おおまびょんの「おお！マーチde体操」を見る来場者



参加団体による振る舞いコーナー

● 参加団体名簿（順不同） 52団体

団体名（出展内容）	団体名（出展内容）
①アースデイおおまち（福島の子もキャンプバザー）	②⑤大町のおどり（ステージ発表）
②安曇野アイターン友愛会とセルフビルドの会「たたった」（おもちゃの修理、移住交流相談）	②⑥介護予防たいそうサポーターの会（ステージ発表）
③いけだ地域活動支援センター「くわの木」（さおり織製品）	②⑦㈱てる坊市場（大判焼き）
④（一社）長野県自動車整備振興会 大町支部（マイカー点検）	②⑧救護施設れんげ荘（手作りマット、アクリルたわし）
⑤NPO法人えべや大町（日用品バザー）	②⑨共同作業所がんばりやさん（クッキー、パン、手作り縫製品）
⑥大町市遺族会（つきたておもち）	③⑩サンパギータ（ステージ発表）
⑦大町市くらしの会（衣類のリサイクルの行方）	③⑪信濃大町のつけものや（漬物）
⑧大町市健康づくり推進員会（健康クイズラリー）	③⑫障害者多機能型事業所ひまわり・たんぼぼ・すずらん（、ステージ発表、ポップコーン、コーヒー、藍染め・草木染め製品）
⑨大町市子ども会育成連絡協議会（少年リーダーの手作りおもちゃ）	③⑬市立大町総合病院（ミニ健診、手術体験、ぶによぶによ玉すくい）
⑩大町市社会福祉協議会（ぼたん鍋、やきとり、東北の海産物、地元の特産品）	③⑭信州金熊温泉 明日香荘（炭焼きおやき）
⑪大町市消費生活センター（最近の消費生活相談事例、特殊詐欺）	③⑮宗水会一同（お茶席）
⑫大町市身体障害者福祉協会（フランクフルト）	③⑯大北建設労働組合（木工広場、包丁研磨、住宅相談）
⑬大町市赤十字奉仕団（炊き出し）	③⑰大北歯科医師会（無料歯科検診・相談）
⑭大町市男女共同参画コミュニケーター大町地区（輪投げ）	③⑱大北防犯協会連合会・大町警察署（防犯啓発活動）
⑮大町市陶芸の家（陶芸作品）	③⑲ときわ農産物直売所かたくり（農産物）
⑯大町市婦人会（手作り石けん、バザー）	④①特別養護老人ホームカトレヤ（ステージ発表、わたあめ）
⑰大町市母子寡婦福祉会（フラワーアレンジメント、バザー）	④②長野県大町保健福祉事務所（献血、愛犬のしつけ方）
⑱大町市民生児童委員協議会（つきたておもち、東北の海産物、地元の特産品）	④③仁科台中学校PTA（日用品バザー）
⑲大町市民生部子育て支援課（遊具、工作）	④④ハーブの風共同作業所（パン、手作りカレンダー）
⑳大町市民生部生活環境課（エコバッグ・生ごみ堆肥配布）	④⑤ばいはいはるちゃん みとろ（クレープ、小物雑貨）
㉑大町市役所市民課（高齢者等の交通事故防止）	④⑥88ボランティア（ひざ掛け）
㉒おおまち食育応援団（おやき、五平餅、野菜料理実演）	④⑦パン工房わたぼうし（天然酵母パン）
㉓大町市老人クラブ連合会（わら工芸作品）	④⑧ホットネットひだまり（コーヒー、八坂産野菜）
㉔大町市を愛する女性の会（映画）	④⑨ゆずり葉の会（赤飯、豚汁、バザー）
	④⑩養護老人ホーム鹿島荘（バザー、輪投げ）
	⑤①アッサンブレ（ステージ発表）
	⑤②信州草木染木崎工房（草木染め製品）
	⑤③公益社団法人北アルプス広域シルバー人材センター（会員募集）

【評価】

- 昨年度までの過去3年間は、「東日本大震災復興支援イベント」の副題を銘打ち開催してきたが、本年度はそれ以前の従来の形に戻し開催した。
- 国内で幾つもの災害が発生していることから、復興支援・義援金活動は市民ふれあい広場全体としては行わず、各参加団体の自主的な取り組みとなった。
- 当日は天候に恵まれ、家族連れなど大勢の市民が来場し交流を深めた。
- 大町市・社協の負担金減額により、財政的に厳しい状況となっている。今後の開催方法や開催意義など、大町市・社協で検討することが急務である。



## 2. ボランティア活動の推進

ボランティアセンターの活動や役割の周知を図り、ボランティア活動への理解促進と、活動に参加しやすい環境づくりに努めました。

### (1) ボランティアセンター運営事業

項 目	実施結果・内容											
相談・登録・コーディネート機能の充実	○ ボランティアに関する相談、連絡調整、ボランティア登録を実施 ◆ 登録状況 98グループ 6,803人											
ボランティアセンター運営委員会の開催	○ ボランティアセンターの適正な運営を図るため、運営委員会を開催 ◆ 第1回 8月24日 8人出席 内 容 平成27年度の取り組みについて ボランティア基金の活用について 災害復興継続支援について ◆ 第2回 2月29日 11人出席 内 容 平成27年度事業報告について ボランティア基金の活用について 平成28年度事業内容について											
個人・団体への各種備品の貸し出し	○ 備品の貸出実績：18品目 延べ385件（内訳別記） ○ ボランティア室の機材使用実績 <table border="1"><tr><td>コピー機</td><td>団体数 22 団体</td><td>白 6,723 枚</td><td>カラー 415 枚</td></tr><tr><td>パソコン</td><td>団体数 4 団体</td><td colspan="2">延べ39回</td></tr></table> ○ ボランティア基金を活用し備品を購入 「防災用ヘルメット」100個、「ファスナーピブス」100枚、 「階段避難車」2台、「カーレット」3セット、展示用パネル6枚、 「綿菓子製造機」1台				コピー機	団体数 22 団体	白 6,723 枚	カラー 415 枚	パソコン	団体数 4 団体	延べ39回	
コピー機	団体数 22 団体	白 6,723 枚	カラー 415 枚									
パソコン	団体数 4 団体	延べ39回										
ボランティアに関する各種保険窓口業務	○ ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償保険等各種保険加入の窓口業務を実施 ◆ ボランティア活動保険加入状況 Aプラン：1,346人、Bプラン：551人、 天災Aプラン：9人、天災Bプラン：3人											
広報紙「ボランティアニュース」の発行	○ ボランティアや福祉教育情報を中心に掲載し、全戸配布のほか、市内小中学校、NPO法人等に配布 ◆ 年6回（奇数月1日）発行（全戸配布9,600部、詳細別記）											

#### ● ボランティア登録団体数の推移 (単位：団体)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
登録団体数	83	84	83	88	98

#### ● 備品の貸出実績内訳 (単位：件)

品名	車いす	体験用車いす	高齢者疑似体験	視障体験眼鏡	点字器	アイマスク
件数	68	88	10 (22 台)	1	7 (307 台)	5 (229 個)
品名	プロジェクター	スクリーン	テント	ワイヤレスマイク	ポップコーン製造機	綿菓子製造機
件数	63	28	1	5	16	16
品名	ポッチャ	カーレット	ゲーム用品	レクリエ	小銭計数機	ジンリキ
件数	12	41	19	3	1	1



● ボランティアニュースの発行内容

号 数	発行日	主な記事
167号	5月1日	男性の料理教室参加者募集/災害支援ボランティア相談窓口開設中/貸出備品紹介/ボランティア団体登録・助成金申請ほか
168号	7月1日	希望の旅参加者募集/点字本紹介/ボランティアグループ紹介/認知症との関わり方講座参加者募集ほか
169号	9月1日	大北ブロックボランティア地域活動フォーラム開催/復興支援イベントボランティア募集/録音図書紹介/障がい者作品定期販売会開催ほか
170号	11月1日	福祉啓発標語募集/復興支援イベント義援金のお礼と報告/ボランティア団体表彰/楽しいレクリエーション紹介ほか
171号	1月1日	ボランティアリーダー研修会開催/福祉体験メニュー紹介/大北ブロックボランティア地域活動フォーラム報告/義援金振込報告ほか
172号	3月1日	福祉啓発標語入選者発表/ボランティアリーダー研修会報告/ボランティア保険のご案内/展示用パネル利用者募集ほか

【評価】

○ ボランティアセンター運営委員会では、ボランティア基金の活用方法やボランティア事業についての検討と事業実施が行われた。

(2) ボランティア活動相互連携事業

項 目	実施結果・内容
ボランティア交流研究集会の開催	開催日 2月21日 会 場 サン・アルプス大町 参加者150人 内 容 講演「今、求められる地域活動」 松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋 氏
大北ボランティア地域活動フォーラムの開催	○ 大北ブロック市町村社協担当で実行委員会を組織し、内容等について検討し開催（実行委員会：第1回6月5日、第2回9月11日開催） 開催日 10月22日（木） 会 場 平公民館 内 容 講演「今、求められるボランティア活動」 KT福祉研究所 代表 松藤 和生 氏
ボランティア団体等情報交換会の開催	○ ボランティアリーダー研修会を開催 開催日 1月28日（木） 会 場 大町市総合福祉センター 内 容 「身近なものでレクリエーション」 レクリエーションインストラクター 種山 正子 氏

【評価】

○ 大北ボランティア地域活動フォーラムでは、高齢化等により担い手不足に悩むボランティア団体が多い中で、参加者からは「ポジティブな講演を聞いた。」と好評を得た。  
○ ボランティア交流研究集会では、住民による地域活動の重要性が高まる中で、実際の活動方法等の講演があり、参加者からは「今後の活動について大いに参考となった。」との感想があった。



ボランティアリーダー研修会  
(1/28 総合福祉センター)



ボランティア交流研修集会  
(2/21 サン・アルプス大町)

### (3) 災害ボランティア支援事業

項 目	実施結果・内容
災害ボランティアの登録・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 神城断層地震災害ボランティアの登録と調整を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 相談件数：2件、活動場所：美麻地区</li> <li>◆ ボランティア活動件数：2件、活動者数：9人</li> </ul> </li> <li>活動内容：被災者宅の片付けやごみの搬出、自宅への引っ越し作業</li> </ul>
災害復興継続支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10月10日開催の市民ふれあい広場で、民生児童委員会の協力により、ぼたん鍋とやきとりの振る舞いや、大船渡市・山田町・美麻地区・白馬村・小谷村の特産品販売を実施（売上額：272,600円）</li> </ul>

#### 【評価】

- 災害に備え、市内関係機関と連携しながら災害活動支援・研修を開催し、日常からの地域のつながりの強化を図る。



市民ふれあい広場神城断層地震復興支援「ぼたん鍋コーナー」  
(10/10 大町市文化会館前広場)

### Ⅲ 安心して暮らせるまちづくり

日常生活で支援を必要とする人が住み慣れた地域で暮らし続けるための各種在宅福祉サービス等を提供し、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが生きがいを持って「安心して暮らせるまちづくり」を推進しました。

#### 1. 生活支援活動の推進

一人では解決できない暮らしの中の悩み事や、身体状況・居住環境による外出困難、認知症や障がいによる判断能力の低下等に対応するサービスを提供しました。

##### (1) 心配ごと相談事業

「一人で悩むより、早めの相談が解決の第一歩」と呼び掛け、日々の暮らしでのさまざまな悩み事の相談に応じる相談所を開設しました。法律に関する内容にも対応できるよう、心配ごと相談と司法書士相談を併せて開設しました。

項 目	実施結果・内容
心配ごと相談	○ 毎月2回開設
司法書士相談	○ 相談件数 55件（前年対比18件減）
相談員の研修	○ 県社協主催「地域総合相談推進セミナー」に参加 開催日 12月4日 会 場 松本市浅間温泉文化センター 参加者 8人（心配ごと相談員6人、事務局職員2人）

##### ● 相談内容 (単位：件)

区分	生計	土地 家屋	家族	離婚	財産	金銭 貸借	結婚	近隣	苦情	その他	合計
H27	0	8	6	2	23	8	1	4	0	3	55
H26	0	23	6	2	26	8	1	0	7	0	73

##### ● 相談件数の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
相談件数	46	49	65	73	55

##### 【評価】

- 相続や金銭貸借に関する相談では、法律上の説明が重要であり、心配ごと相談と司法書士相談を併設することが不可欠となっている。
- まいさぼ大町の就労支援など、他の相談窓口との連携を図ることができた。
- 相談件数が前年比18件の減となっている。気軽に相談できるような案内に努めていく。

育てよう 笑顔で水やり 福祉の花

(大町西小学校6年 山口 珠幸さん)

広げよう 福祉の心 つなげよう 福祉の輪

(大町北高校3年 杉本 拓郎さん)

平成27年度福祉啓発標語入選作品

## (2) 福祉輸送サービス事業

一人では公共交通機関が利用できない高齢者や障がい者等の外出を支援するため、車いすに乗ったまま乗り降りできる福祉車両による送迎サービスを提供しました。また、消費税増税や民間タクシー会社等が行う同様サービスの利用料金との均衡を考慮し、利用料金見直しを検討しました。

項 目	実施結果・内容
福祉輸送サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通院や買い物などの外出時の支援として福祉車両による送迎サービスを提供</li> <li>◆ 運行時間：平日8:30～17:00（祝日・年末年始を除く）</li> <li>◆ 利用料金：市内500円、市外1 km当たり50円を加算</li> <li>◆ 運行範囲：市内発着で市境から20km以内</li> <li>◆ 年度末利用登録者数：142人（うち新規登録者数：36人）</li> <li>◆ 運行日数・回数：243日 延べ2,406回</li> </ul>
福祉車両の貸し出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き時間に福祉車両を貸し出し（年末年始を除く）</li> <li>◆ 貸出実績：延べ12回</li> </ul>
運転手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国土交通省認定STS（移送サービス運転者）講習を受講</li> <li>◆ 受講者数：2人</li> </ul>
利用方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用料金の見直しについて、県内の市・大北町村の状況を調査し、第4回理事会に提案し、料金改定の必要性和改定時期を協議</li> </ul>

### ● 年度末利用登録者数の推移 (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
利用登録者	256	141	115	138	142

### ● 拠点別運行回数の推移 (単位：回)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
大 町	1,643	1,722	1,641	1,778	2,179
八 坂	668	690	462	162	138
美 麻	533	304	234	124	89
合 計	2,844	2,716	2,337	2,064	2,406

#### 【評価】

- 「大町」では、昨年まで登録車両1台で運行することが多かったが、職員態勢等を見直し、登録車両3台全てが同時に運行するまで利用予約を受けることとした結果、運行回数が前年度比22.5%（401回）増加し、より多くの利用希望に応じることができた。
- 「八坂」「美麻」は、人工透析などで利用頻度が多い利用登録者の死亡や施設入所等により運行回数が減少した。
- 利用料金見直しについては、本年度に行った調査・協議を基に今後検討を進める。





### (3) 日常生活自立支援事業

大北地域の基幹的社協として、判断能力が十分でない人（認知症、知的障がい、精神障がい等）の福祉サービスの利用援助や、日常の金銭管理等のサービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
福祉サービス利用援助契約	○ 本人や家族、関係機関から相談を受け、必要に応じて本人・県社協との3者で福祉サービス利用援助契約を締結 ◆ 新規契約者数：17 件、解約者数：13 件
成年後見制度との連携	○ 高齢者、障がい者のための成年後見個別無料相談会で対象者5人の後見移行について相談（うち2人は成年後見制度に移行） ○ 成年後見支援センター設立準備会に出席し、平成28年度の開設に向けて、業務概要、運営規程、名称等を協議 ◆ 第1回：11月10日、第2回：12月18日 ○ 平成28年度からの成年後見支援センターの設立について、第4回理事会で協議し、第5回理事会及び第3回評議員会で議決
サービスの向上	○ 県全体の生活支援員を対象とした研修に参加 ◆ 1期目対象：10月5日 松本勤労者福祉センター ◆ 2期目以降：10月15日 松本勤労者福祉センター

#### ● 年度末契約者数・延べ支援回数の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
年度末契約者数（人）	58	55	59	75	79
延べ支援回数（回）	2,884	2,462	2,490	2,204	2,780

#### ● 市町村別・対象者別契約者数（平成 28 年 3 月末現在）

（単位：人）

対象者	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	合計
認知症高齢者	22	2	0	7	3	34
知的障がい者	13	0	0	0	0	13
精神障がい者	24	2	0	2	1	29
そ の 他	3	0	0	0	0	3
合 計	62	4	0	9	4	79

※ 松川村は平成 26 年度から2年間、モデル指定社協として直営で実施。

#### 【評価】

- 契約件数は増加傾向にあり、特に認知症高齢者と精神障がい者で支援が必要な人の契約が増加している。
- 判断能力の低下が著しい利用者については、関係機関と連携しながら成年後見制度への移行を順次進めていく。

みらいはね たのしくわいわい できるとこ

（大町西小学校3年 奥村 茉由さん）

優しさで 生まれる物は 無限大

（仁科台中学校2年 伊藤 愛唯さん）

平成 27 年度福祉啓発標語入選作品

#### (4) 豊かな暮らし応援事業

生活の不便さを少しでも解消するサービスの提供や、暮らしに役立つ講座の開催を通して、豊かな暮らしの増進に努めました。

項 目	実施結果・内容
美麻診療所患者輸送業務	○ 美麻診療所への患者輸送業務を実施 ◆ 運行日数 133日（祝日を除く月・水・木曜日） ◆ 延べ利用者数 612人（平均51人／月）
八坂・美麻配食サービス配達業務	○ 八坂・美麻地区内の高齢者等を対象に、各地域福祉センターを拠点とした配達ボランティアによる配食弁当の配達業務を実施 ◆ 配達件数（八坂：延べ0件、美麻：延べ67件） ◆ 実働ボランティア数（八坂：0人、美麻：3人）
高齢期安心生活支援業務	○ 高齢期を豊かで自分らしく暮らすため、「知って得する社協の講座」を開催（会場はいずれも大田市総合福祉センター） ◆ 第1回 2月19日 「相続の基礎」 参加者25人 ◆ 第2回 3月3日 「相続税と遺言」 参加者52人 ◆ 第3回 3月18日 「セカンドライフプラン」 参加者36人 ◆ 第4回 3月25日 「成年後見制度」 参加者32人

#### ● 美麻診療所患者輸送業務延べ利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
延べ利用者数	737	798	842	680	612

#### ● 八坂・美麻配食サービス配達業務利用件数の推移 (単位：件)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
八坂地区	638	897	550	110	0
美麻地区	189	181	125	75	67
合 計	827	1,078	675	185	67

#### 【評価】

- 美麻診療所患者輸送業務は、人口減少とともに高齢患者が減少傾向にあるが、乗降時は補助しながら安全に送迎を行うことができた。
- 配食サービス配達業務は、年々利用件数が減少してきているが、サービスが必要な人がいる限り業務を継続していく。
- 高齢期安心生活支援業務は、男女問わず幅広い年齢層の人が参加した。「講座で学んだことを生かしたい。」との声が多くあった。高齢期に有意義な生活を過ごすために、知識を身に付けたいと感じている人が多いことから、今後も地域に身近な内容の講座を継続的に開催し、介護予防や生きがい、交流の場づくりを図る。

なかよくあそんで えがおがいっぱい

(大町西小学校1年 長澤 莉緒さん)

大切にしよう 人とのつながり 地域のつながり

(仁科台中学校1年 飯沢 志峰さん)

平成27年度福祉啓発標語入選作品

## 2. 高齢者福祉活動の推進

高齢になっても生きがいを持って充実した在宅生活を継続できるよう、生きがいデイサービスと生活支援ホームヘルプサービスを提供しました。

### (1) 生きがいデイサービス事業

利用者の心身機能の維持向上に努めながら、生きがいづくりを支援するグループ活動サービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
デイサービスセンター みさか	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 平均契約者数 3人／月 ○ 延べ利用者数 141人（平均12人／月）
デイサービスセンター みあさ	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 平均契約者数 2人／月 ○ 延べ利用者数 133人（平均11人／月）
生きがいづくりの支援	○ 残存機能の維持を目指し、手先を使った活動の提供や利用者同士のコミュニケーションにより、地域行事参加等意識の向上を支援
心身機能の維持・向上 を目的とした活動	○ 在宅生活を継続するための機能訓練を目的としたレクリエーション活動を提供するとともに仲間づくりを支援

#### ● 生きがいデイサービス延べ利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
デイみさか	20	140	197	139	141
デイみあさ	207	179	148	227	133
合 計	227	319	345	366	274

#### 【評価】

- 新規利用者の中に介護保険に該当する人がおり、利用が安定しなかった。（みさか）
- 利用者が介護保険に移行し、前年度に比べ稼働が減少した。（みあさ）

### (2) 生活支援ホームヘルプサービス事業

利用者の残存能力を引き出して自立を促すように努めながら、家事援助を中心としたホームヘルプサービスを提供しました。

項 目	実施結果・内容
生活支援ホームヘルプ サービス	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 平均契約者数 5人／月 ○ 延べ訪問回数 199回（平均16.5回／月）

#### ● 生活支援ホームヘルプサービス延べ訪問回数の推移 (単位：回)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
延べ訪問回数	360	420	252	306	199

#### 【評価】

- 住み慣れた在宅での生活を継続できるよう、自立を促すサービス提供に努めた。精神疾患により意欲低下している人もおり、関係機関との連携を強化していく。

### 3. 介護保険事業の推進

利用者、介護者の多様なニーズに応える柔軟なサービスの提供に努めました。

項 目	実施結果・内容
サービスニーズへの対応	○ 関係機関と連携し、随時サービス調整会議等を開催しながら多様なニーズに対応
安定した事業運営	○ 介護報酬改定による減収を補うため、新規利用者の確保と支出抑制の取り組みを実施
人材の育成による質の高いサービス提供	○ 利用者、家族からの満足を得られるよう、内・外の研修による職員の資質向上と日常業務におけるサービス標準化の取り組みを実施
制度改正への対応	○ 大北圏域介護保険事業者連絡協議会の事務局として、制度改正に関する研修会を開催 ◆ 第1回「パネルディスカッション」 5月29日 平公民館 ◆ 第2回「地域で支えるみんなの介護」 10月31日 アブロード

#### ● 介護保険収入の推移

(単位：千円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
介護保険収入	259,817	257,249	259,378	255,412	244,643

#### 【評価】

- 介護報酬改定もあり、介護保険収入は大幅な減収となったが、新規利用者の確保と支出抑制の取り組みにより、一定の収支は確保できた。
- 介護保険制度改正により、介護予防サービスの一部が市町村の実施する地域支援事業へと移行していくことから、事業者としての運営体制を検討していく。

#### (1) 居宅介護支援事業

「利用者本位」と「自立支援」を基本に、利用者の状況に応じた迅速な対応に心がけ、より質の高いケアマネジメントに努めながら、居宅介護支援サービスを提供しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 延べ利用件数 1,076件（平均90件／月）
関係機関等多職種との連携強化	○ 利用者等への支援体制を強化するため、退院・退所及び計画変更時等にサービス事業者や医療・福祉等関係機関と情報を共有
専門職としての資質、技術の向上	○ 介護支援専門員更新研修（1名）を受講したほか、大北圏域で開催される各種研修会等に参加

#### ● ケアプラン作成件数の推移

(単位：件)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
要 支 援	71	111	149	130	120
要 介 護	1,027	1,047	996	933	956
合 計	1,098	1,158	1,145	1,063	1,076

#### 【評価】

- 介護報酬改定で基本報酬は3.6%増となったが、約6%を占めていた認知症加算と独居加算がなくなったことで実質3%程度の減となり、当初収入目標は達成できなかった。
- 独居や高齢者世帯等で家族支援が得られないケースが増え、関係機関等との調整業務が増大していることから、更に連携強化を図っていく。



## (2) 訪問介護事業

要支援、要介護状態になっても住み慣れた地域でその人らしい生活が継続でき、介護者の負担軽減となるようサービスを提供しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 366日</li> <li>○ 平均契約者数 104人/月</li> <li>○ 延べ訪問時間数 19,483時間（平均1,624時間/月）</li> </ul>
訪問介護員の確保	○ 登録ヘルパーを2人採用
関係機関との連携	○ 利用者の心身の状態変化について、ケアマネジャーや訪問看護師と密接に情報を共有
介護予防支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者ができることを生かしながらサービスを提供</li> <li>○ 大町市より「生活支援ボランティア育成に係る実態調査業務」を受託し、利用者の生活支援サービスに関する調査を実施</li> </ul>
サービスの質の向上	○ 研修計画に添って、内・外の講師による内部研修を実施

### ● 延べ訪問時間数の推移

(単位:時間)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
要 支 援	3,271	2,740	3,102	2,695	2,800
要 介 護	18,085	18,081	19,254	18,262	16,683
合 計	21,356	20,821	22,356	20,957	19,483

#### 【評価】

- 在宅生活が困難になって施設に入所された方や、冬季にショートステイを利用された方の一時退所や帰宅時に当事業所を利用されることが増えている。
- 緊急や短期の利用、在宅と施設の定期的利用などの要望に柔軟に応えることができた。
- 新規利用者の受け入れに対応する人材の確保ができた。今後は同行訪問や研修を通して育成していく。

## (3) 訪問入浴介護事業

自宅での入浴が必要な利用者に安心して心地よい入浴サービスを提供するとともに、介護者の負担軽減になるよう介護相談などの支援を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 257日（年末年始を除く月～金曜日）</li> <li>○ 平均契約者数 12人/月</li> <li>○ 延べ利用者数 571人（平均48人/月）</li> </ul>
安定したサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 皮膚トラブルや体調の変化に迅速に対応</li> <li>○ ケアマネジャーに毎月の空き状況の情報を送付</li> </ul>
入浴車故障時の対応検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小谷村地域包括支援センター及び小谷村社協担当者が入浴車故障時の対応について協議</li> <li>○ 24時間テレビの車両寄贈を申請（不採択）</li> </ul>
サービスの質の向上	○ 訪問入浴専門の手技研修を受講
中山間地域への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 白馬村・小谷村に積極的にサービスを提供</li> <li>◆ 延べ利用者数内訳：白馬・小谷 253人、大町 318人</li> </ul>

● 延べ利用者数の推移

(単位:人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
延べ利用者数	218	434	494	596	571

【評価】

- 入浴車は平成14年8月登録で14年目を迎えており、引き続き故障時の対応について検討していく。
- 高齢化に伴って終末期の在宅介護が重要視されており、今後の需要は増加傾向にある。
- サービスの向上と積極的な情報提供により新規利用者の獲得に努めていく。

## (4) 通所介護事業

心身機能の維持・向上のための機能訓練やレクリエーション活動を充実するとともに、ニーズに応じた柔軟な利用調整に努めながら、通所サービスを提供しました。

● 延べ利用者数の推移(要支援・要介護合算)

(単位:人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
ひなたぼっこ	1,940	1,952	2,321	2,598	2,892
こすもす	6,964	6,607	6,929	6,391	5,864
みさか	3,433	3,069	3,594	4,362	4,442
みあさ	3,755	4,186	3,986	3,798	4,156

【評価】

- 新規利用者の確保とサービス内容の改善、個別ケアの向上に努めた。
- 看護師の不足を事業所間の兼務で対応したが、機能訓練が実施できない日もあったことから、人材確保に努めていく。

### ① デイサービスセンターひなたぼっこ(認知症専用デイサービス)

認知症進行の緩和と介護者支援を目的としたサービスを提供しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 360日(年末年始を除く)</li> <li>○ 平均契約者数 23人/月</li> <li>○ 延べ利用者数 2,892人(平均241人/月)</li> </ul>
利用ニーズに応えるサービスの提供	○ 利用者や家族の心身状況や経済的負担等に配慮したケアプランとなるようケアマネジャーと協働し、サービスを提案
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施(12/30 利用者10人)
認知症進行の緩和	○ 生活リハビリや畑作業のほか、脳トレメニューを実施
介護者の支援	○ 送迎時の会話を大切にし、時にはデイサービスへ出かけていただき、介護相談等の支援を実施
ボランティアの育成・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 白塩町の自治会の協力による外出行事の付き添いや交流事業を開催 ◆ 6回開催、ボランティア延べ17人、利用者延べ47人参加</li> <li>○ ひなたぼっこだよりを6回発行し、家族や関係者へのデイサービスの活動報告や認知症に関わる記事を掲載</li> </ul>

● 延べ利用者数の推移

(単位:人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
要 介 護	1,940	1,952	2,321	2,598	2,892

【評価】

- 重度化により施設入所される方や他界される方が増えている。
- 介護度が低くても認知症状が進行し、家族の負担軽減を目的とした利用が増えている。
- デイを飛び出してひたすら歩き続けるなど、職員が個別に対応しなければならない方が増えたことから、職員の配置を増やして対応している。(施設はせず、行動に目を配りながら携帯電話を所持して付き添い。)
- 畑で農作物を計画的に利用者と共に作付けし、収穫を楽しむことができた。

② デイサービスセンターこすもす

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 360日(年末年始を除く)</li> <li>○ 平均契約者数 73人/月</li> <li>○ 延べ利用者数 5,864人(平均488人/月)</li> </ul>
利用ニーズに応えるサービスの提供と安定経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭事情に応じ、施設、火の元、照明、暖房等の管理を実施</li> <li>○ 体調変化をいち早く察知し、医療機関の受診や家族・ケアマネジャーへの連絡等、適切な措置を実施</li> </ul>
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施(12/29 利用者7人)
職員の資質向上	○ 月例のカンファレンスや日誌の活用により利用者の健康状態や生活環境変化等の情報を共有
在宅生活の継続支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動機能向上サービス、生活機能向上サービスを提供</li> <li>○ 心身の衛生保持と健康維持のための身体介助や処置を実施</li> </ul>
入浴設備の活用	○ 特殊浴槽設備(機械浴)利用者を受け入れ
ボランティア活動の啓発と情報発信	○ 外出行事における支援ボランティアや芸能ボランティア週間等を企画し、実施

● 延べ利用者数の推移

(単位:人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
要 支 援	1,541	1,809	2,637	2,449	1,740
要 介 護	5,423	4,798	4,292	3,942	4,124
合 計	6,964	6,607	6,929	6,391	5,864

【評価】

- 特殊浴槽設備(機械浴)の利用希望者が増えているが、機器の老朽化が不安材料となっている。
- 医療処置希望の利用者が増えていることから、ケアマネジャー、主治医、訪問看護師等との連携を強化していく。

達者です 今日もその声ひと安心 ポウに共助で笑顔です

(一般の部 市川 尊典さん)

平成27年度福祉啓発標語入選作品

### ③ デイサービスセンターみさか

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 259日（年末年始を除く月～金曜日） ○ 平均契約者数 39人／月 ○ 延べ利用者数 4,442人（平均370人／月）
利用ニーズに応えるサービスの提供と安定経営	○ 体調変化をいち早く察知し、医療機関の受診や家族・ケアマネジャーへの連絡等、適切な措置を実施
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施（12/29 利用者 12 人）
新規利用者の確保	○ 新規利用者 10 人（八坂地区 4 人、大町地区他 6 人）

#### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
要 支 援	290	276	570	836	718
要 介 護	3,143	2,793	3,024	3,526	3,724
合 計	3,433	3,069	3,594	4,362	4,442

#### 【評価】

- 他界等による利用者の減を新規利用者の確保により補い、安定稼働に努めた。
- 例年になく冬期間の利用が減少せず、延べ利用者は前年比 80 人（約 2%）増加した。
- 延べ利用者数が増えたにも関わらず、報酬改定の影響で収入は前年比約 6%減少した。特に介護予防報酬（要支援）の減額が大きく、今後の事業運営について検討を要する。

### ③ デイサービスセンターみあさ

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 259日（年末年始を除く月～金曜日） ○ 平均契約者数 45人／月 ○ 延べ利用者数 4,156人（平均346人／月）
利用ニーズに応えるサービスの提供と安定経営	○ 家庭事情に応じ、施設、火の元、照明、暖房等の管理を実施 ○ 利用者・介助者のニーズに応じ、柔軟にサービスを提供
自主事業の実施	○ 年末入浴サービスを実施（12/30 利用者 21 人）
充実した入浴設備の活用	○ 特殊浴槽による入浴介助（利用実績：平均 6.9 人／日）
新規利用者の確保	○ 地区内医療機関等との連携による利用者を確保
情報発信	○ デイサービスセンターみあさ新聞を発行（3回）

#### ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
要 支 援	984	1,182	943	909	723
要 介 護	2,771	3,004	3,043	2,889	3,433
合 計	3,755	4,186	3,986	3,798	4,156

#### 【評価】

- 充実した入浴設備に満足され、特殊浴槽のニーズも高くなっている。
- 医療機関等の紹介により要介護の利用者は増加したが、要支援の利用者は減少した。
- 利用者と職員は馴染みの関係ができており、居心地の良いサービス提供を心がけた。



#### 4. 障がい者福祉の推進

個々の持つ能力を活かし、地域で豊かな日常生活が送れるよう、住民に向けた障がい理解促進事業、当事者に向けた就労支援事業、地域生活支援事業、福祉サービス事業を実施しました。

##### ● 障害福祉サービス収入の推移

(単位：千円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
障害福祉サービス収入	85,557	84,989	84,744	81,517	84,178

##### 【評価】

- 地域生活に要する多様なニーズを受け、関係機関と連携を図りながら柔軟にサービスを提供することができた。
- 収入は昨年度まで減少傾向であったが、居宅介護事業と多機能型障害福祉サービス事業の稼働増等により、増加に転じた。

#### (1) 障がい理解促進事業

障がい福祉に関する情報提供や地域住民との交流を通して障がいの理解促進に努めました。

項 目	事業結果・内容
障がいの理解促進のための情報提供や講座・講演会等の開催	○ 自立支援協議会で勉強会を開催 ◆ 12/9「社会福祉法人 森と木見学」長野市 参加者 9 人 ◆ 12/5「移送・移動の課題について」「地域生活支援拠点等の整備について」総合福祉センター 参加者 65 人
市内小中学校の体験実習受け入れを通じた啓発	○ 第一中学校 福祉施設体験学習 1 クラス 30 人 2 回 ○ 仁科台中学校 職場体験学習 1 人 2 日 ○ 大町北高「家庭看護・福祉」講座に講師として利用者 1 人を派遣

##### 【評価】

- 「移送・移動サービス」は、事業所収益があまり見込まれないため難しい課題だが、障がい者やその家族が「困り感」を主張して社会の理解を得ていく必要がある。
- 障がいについての体験学習は、学生の社会性を育むことにつながる。

目の見えない人に かたをかしましょう てん字のしるし ふやしましょう

(大町西小学校2年 伊藤 聖流さん)

やさしいな 色んな所に 点字文字

(大町西小学校5年 齋藤 航輝さん)

結ぶ手に 愛が伝わる 温かく

(一般の部 磯野 時子さん)

平成 27 年度福祉啓発標語入選作品

## (2) 障がい者余暇活動支援事業

参加しやすい旅行や交流会の企画・運営、スポーツ大会やレクリエーション等のイベント情報の提供を通して、社会参加を促す環境づくりに努めました。

項 目	事業結果・内容
知的障がい者の余暇活動支援	○ 「レクリエーションを楽しもう」 ◆ 12/12 大町公民館分室 参加者 31 人
大北地区障がい者運動会への参加	○ 障害福祉サービス事業所として、NPO事業所とチームを組み参加 ◆ 6/20 大町市総合体育館
障がい児・者希望の旅事業	○ 障がい理解の一環として、当日の引率ボランティアを募集して実施 ◆ 実施日 9月4日（金） ◆ 行き先 新潟県上越市立水族博物館、JR糸魚川駅 ◆ 参加者 44人（内引率ボランティア4名）
ピア・サポート事業支援	○ 「松本山雅を応援しよう」（サッカー観戦） 9/23 参加者 18 人 ○ 「ゲームセンターを体験しよう」 1/30 参加者 11 人 ○ 「訪問マッサージを体験しよう」 3/29 参加者 5 人
ピア・カウンセリング講座	○ 障がい者同士が相手の話を十分に聞き、自分の問題を自分で解決しようと自分の力を信頼し立ち上げられるようになる講座を開催 ◆ 12/4 総合福祉センター 参加者 7 人
重度障がい者外出支援	○ 介助が必要で日頃外出が難しい方に対し、外出のきっかけを作る支援を実施（2回）

### ● 障がい児・者希望の旅事業参加者数の推移 (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
参加者数	40	48	42	48	44

#### 【評価】

- 知的障がい者の余暇活動は、居住市町村や年齢の枠を超え一緒に楽しむことを通して親睦を深めることができた。
- 大北地区障がい者運動会は、スポーツを通し交流も深められた。
- 障がい児・者希望の旅事業は、参加者から好評を得ている。今後とも障がい理解促進の一環として、ボランティアの参加を更に充実していく。
- ピア・サポート事業支援は、様々な体験を支援者とすることで次回は個人的にやってみようとの意欲につながった。



障がい児・者希望の旅（9/4 新潟県JR糸魚川駅）

### (3) 障がい者就労支援事業

地域で安心して働くことができるように、障がい者・事業所等双方への情報提供や就業に必要な訓練・実習などを支援し、障がい者の社会参加促進に努めました。

項 目	事業結果・内容
障がい者の就労に向けた支援（職業準備訓練、現場実習機会の提供）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援対象障がい者数 177人</li> <li>○ 障がい者に対する相談・支援件数 1,249件</li> <li>○ 職業準備訓練及び職場実習のあっせん数 21件</li> <li>○ 就職件数 36件</li> </ul>
障がい者雇用についての企業への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がい者短期トレーニング促進事業により、障がい者の短期職場実習（1ヶ月以内）に係る経費を実習者に支給 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 対象者：障がい者就業・生活支援センター登録者</li> <li>◆ 利用者：8名（延べ59日実施）</li> </ul> </li> </ul>
関係機関との連携	○ 大町公共職業安定所雇用指導官と連携し、企業訪問を実施
職場定着支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいを開示して就労している方の就労先へ定期訪問し、事業所の困りごとと在職者の困りごとについて調整を行い、職場定着を支援</li> <li>○ 訪問以外では、就労後のスクラム・ネットでの面談、電話・メールでの相談支援を実施</li> </ul>
障がい特性を踏まえた雇用管理についての事業所に対する助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電話、企業訪問、支援会議等により、知的障がい者の職場実習後の雇用検討や、トライアル雇用期間中の精神障がい者の就労状況調査、発達障がい者の雇い入れに向けた調整、高次脳機能障がい者の職場復帰に向けた調整等を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 相談・支援実施事業所：31事業所</li> </ul> </li> </ul>

#### ● 大北管内における障がい者の就労実績の推移 (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
就労障がい者数	15	16	17	16	36

#### 【評価】

- 障がいを開示せずに就労している方については、本人と事業所の間でトラブルが生じても支援者が直接介入できないことから、働き続けることが難しいケースがある。
- 就職実績件数は大幅に増加した。しかし、職場定着できずに再就職を繰り返すケースも多く、その支援の充実が課題である。
- 引き続き、就業・生活に関わる支援を充実させていく。

優しさは 笑顔の花へ いじめは 悲しみの雑草へ

(大町南小学校6年 鈴木 唯花さん)

咲きほこれ 未来につなぐ その笑顔

(大町南小学校6年 岡江 葉音さん)

助け合い 見て見ぬ振りの 無い社会

(大町北高校3年 吉澤 美輝さん)

平成27年度福祉啓発標語入選作品

#### (4) 地域生活支援事業

安心した生活が送れるよう、保健・医療・地域の支え合い活動などと連携しながら利用者の能力と生活状況に応じたサービス利用計画の作成、各種相談・生活支援サービスを行いました。

##### ① 障害福祉サービス計画支援事業（スクラム・ネット）

日中活動の場の提供（就労継続B型、生活介護）や居宅支援（身体介護・家事援助）など、障がい福祉サービスの計画的な利用について関係機関と連携しながら相談支援にあたりました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 計画作成件数 30件（平均3件／月） ○ モニタリング件数 91件（平均8件／月）
特定相談支援事業	○ 心身の状態、環境などを把握し、在宅生活が継続できるサービス利用計画を作成
障害児相談支援事業	○ 相談実績なし

##### ● 計画作成・モニタリング件数の推移

（単位：件）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
計画作成件数	—	17	18	29	30
モニタリング件数	—	1	18	57	91

##### 【評価】

- 希望する生活の自己実現につながるよう、計画的な福祉サービス利用を支援した。サービスに関する調整は落着き、生活周辺の課題（経済的搾取、薬物・ギャンブル依存等）に焦点が移っている。関係機関と連携し支援にあたっているが、今後の課題となる。
- 一般就労を希望する方には、就労継続A、B型事業所、就業・生活支援センターとの連携により、企業への就労（正規職員）2件、資格取得（介護職員初任者研修）1件の成果を得た。

##### ② 大北圏域障害者相談支援事業（スクラム・ネット）

障がい者や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のために必要な援助を行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 延べ相談件数 5,327件（平均443件／月）
来室、電話、訪問等での相談支援	○ 使用できる相談室を確保し、スムーズな相談対応を実施 ○ 各市町村担当者と連携を図り訪問を実施
管内町村へ出張相談	○ 今年度からひきこもり等相談会として実施 ◆ 池田町2回、松川村2回、白馬村5回、小谷村1回 ◆ 延べ相談件数：9回
ピアカウンセラー・ペアレントメンターによる相談支援	○ 障がいのある子どもを持つ親が安心して話ができるよう、障がいのある相談員が雰囲気作りをしながら、対等な立場で話を聞き、その経験を活用した相談支援を実施
一般相談支援事業	○ 精神病院の退院を控えた患者に対し、地域の情報提供や各種体験（不動産、市役所、福祉サービス事業所、司法書士事務所）等を実施
当事者団体等支援	○ 地域で自主的に活動している当事者団体や家族会への助言を実施 ○ 自立支援協議会当事者部会の活動に協力
自立支援協議会の運営	○ 全体会と各専門部会を組織し、共通の目的に向けた情報の共有と関係者によるネットワークを構築



● 延べ相談件数の推移

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
相談支援件数	6,545	6,724	6,423	5,457	5,327

【評価】

- 自立支援協議会の各部会では、互いの知識向上を図ることができた。
  - 市町村から要望の多かった「ひきこもり等相談会」を開催できた。
  - 県及び自立支援協議会において、地域移行・地域定着支援の必要性が検討されてきた。
- 次年度、一般相談支援事業所の指定申請を行う。

③ 発達障がいサポート・マネジャー事業（スクラム・ネット）

発達障がい者を直接支援している方々へ、より専門的な支援の方法を取り入れていただけるように、アイデア提供や専門家への橋渡しを行いました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 243日（年末年始・祝日を除く月～金曜日） ○ 延べ支援件数 310件（平均25件／月）
各分野の専門家との連携・協力	○ 福祉・教育・医療・就労・行政（現地機関）・警察・司法等と、それぞれの当事者のニーズに沿って連携
支援者に対する総合的な助言	○ 多職種からの意見を伺いながら、協力を求め、支援会議などに参加していただき、総合的な助言としてまとめ、当事者の支援に反映
必要な支援への橋渡し体制の整備・充実	○ 各分野の担当者に支援会議等に参加していただき、支援者同士の橋渡しを行い、大北圏域内の支援体制を強化

【評価】

- ひきこもりとなっている方の中には、発達障がい傾向の方も多く含まれるのではないかとこの見立てのもと、ひきこもり相談会に対応し、相談がつながってきた。
- さまざまな分野の支援者に、発達障がいを視野に入れた当事者理解が浸透してきた。

④ 療育支援事業（スクラム・ネット）

障がいのある児および障がい傾向のある児に、早期発見と療育支援を行うことにより、穏やかな生活が送れるよう、体制構築の推進を図りました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 243日（年末年始と祝日を除く月～金曜日） ○ 延べ相談件数 2,280件（平均190件／月）
児童発達支援巡回相談	○ 障害児等療育支援事業（県の一般財源事業）、巡回相談支援専門員整備事業（国の補助事業）により、保育園・幼稚園・小中学校を訪問し、保護者や支援者へ助言・指導を実施 ◆ 延べ訪問回数 1,274回（平均106回／月）
乳幼児フォローアップ教室（あそびの教室等）	○ 各市町村で実施されている教室に療育専門員が参加し、療育内容や支援の方向性についての助言を実施（各市町村1～2回／月）
ソーシャル・スキルズ・トレーニング（社会生活機能訓練）	○ 松川村、池田町、白馬南小で実施されているSST教室等に参加し、対象児への直接指導や支援者への助言・学習会を実施
ペアレントトレーニング（父母等に向けた子供への関わり方の教室）	○ 松川村で5回1セットのトレーニングを開催 ○ 小学校・保育園の保護者教室や支援者研修において『子どもへの関わり方』というテーマで学習会を実施
5歳児相談	○ 保護者同伴で小集団活動の参観後、個別相談を実施 ○ 保護者や担任への事前調査書作成を依頼（アンケートを実施） ○ 発達の遅れや偏りが心配な子どもについては、巡回相談等で事後フォローを実施（42回／年）

項 目	事業結果・内容
幼稚園・保育園・学校・施設等での研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作業療法士による研修会を開催（感覚統合等）</li> <li>○ 臨床心理士による研修会を開催（行動応用分析等）</li> <li>○ 療育コーディネーターや知的障害者生活支援コーディネーターによる研修会を開催（発達障がい等の普及啓発等）</li> <li>○ 特別支援教育コーディネーター養成研修を開催</li> </ul>
市町村事業への派遣	○ 運動発達に遅れや心配のある子どもに対し、各市町村でPT相談を開催（1～2回/月）

● 延べ相談件数の推移

（単位：件）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
訪問療育等支援事業	592	547	506	456	739
外来療育等支援事業	1,023	725	498	1,040	669
施設支援一般指導事業	922	829	972	972	1,284

【評価】

- 訪問療育等支援事業では、保護者に対して障がい特性の理解・医療機関の勧奨・不安の軽減等を図ることができた。
- 外来療育等支援事業では、SSTや集団療育を対象児らに実施する中で、療育の必要性を支援者や保護者が実感し、支援に対する抵抗感や偏見を軽減することにも繋がった。
- 施設一般指導事業では、支援者への助言・指導や研修会を行い、障がい特性理解、クラス運営における支援技術向上等を促すことができた。
- 安曇養護学校のセンター的機能（教育相談）と連携を図り、巡回相談を実施することで、多角的な視点での助言・指導を行うことができた。
- 障がい者差別解消法の施行に向けて、通常学級でインクルーシブ教育の体制構築を図るため、外部支援者の助言指導を求める機関が増えているので、今後も他機関と連携を図り、効率的な巡回相談を行っていくことが必要である。

⑤ 障害者地域活動支援センター事業（ハーモニー・ルーム）

目的をもって生き活きと活動できるよう、生きがいづくりに繋がる講座作りに努めました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 244日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 平均契約者数 25人/月</li> <li>○ 延べ利用者数 1,695人（平均164人/月）</li> </ul>
趣味を生かした講座型事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽しく張り合いのある日常生活ができるよう、利用者の希望を取り入れながら21の講座を企画し、実施</li> <li>①絵画、②ちぎり絵、③アレンジメントフラワー、④絵手紙、⑤陶芸、⑥書道、⑦水引、⑧機能訓練、⑨童謡唱歌、⑩トールペイント、⑪マレットゴルフ、⑫はた織、⑬映画鑑賞、⑭紙粘土、⑮レクレーション、⑯料理、⑰草木染、⑱カラオケ、⑲外出、⑳押し花、㉑革細工</li> </ul>
健康づくりのための機能訓練、外出等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力向上、機能維持のための機能訓練講座（1回/月）</li> <li>○ マレットゴルフ（冬季をのぞき1回/月）</li> <li>○ 外出講座（美術、書道等イベント、映画鑑賞など）</li> </ul>
地域との結びつきを重視したサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市役所市民ホールでハーモニー展を開催</li> <li>○ 大町市文化祭などへの出展講座の活動を紹介</li> <li>○ 地域貢献活動を目的に図書袋や薄縁を製作し、大町市図書館に寄贈</li> </ul>

● 延べ利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
延べ利用者数	1,279	1,698	1,633	1,750	1,695

【評価】

- 利用者の高齢化による体調や家庭環境の変化が、利用減少の一因となっている。新規利用者の募集活動を強化していく。
- 講座の内容は充実し、県障がい者展でも毎回受賞者がある。地域貢献（作品の寄贈等）も取り入れながら活動は幅広くなってきた。

⑥ 移動支援サービス（居宅介護事業所）

通院や余暇活動など、希望に応じた支援を実施しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 366日</li> <li>○ 平均契約者数 3人／月</li> <li>○ 延べ利用時間数 71時間（平均5.9時間／月）</li> </ul>
屋内外における移動困難の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遠隔地への通院支援（15.5時間）</li> <li>○ スポーツクラブ等への余暇活動（55.5時間）</li> </ul>

● 延べ利用時間数の推移 (単位：時間)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
延べ利用時間数	253	214	210	121	71

【評価】

- 新規利用者はなかったが、新たに安曇養護学校の生徒からの支援依頼がある。
- 今後は年齢も幅広く、障がい児への対応も求められる。

⑦ 日中一時支援事業（多機能型障害福祉サービス事業所）

障がい児に日中活動の場を提供することで保護者の日常生活（就労等）を支援しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 366日 ※</li> <li>○ 実利用者数 4人</li> <li>○ 延べ利用時間数 467時間（平均40時間／月）</li> <li>※ 平日の夕方、土曜日の午前中の支援が主体</li> </ul>
一対一対応の支援	○ 利用者1人にサポーター1人の体制で支援
登録サポーターの整備	○ 実稼働サポーター数：5人

● 延べ利用時間数の推移 (単位：時間)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
延べ利用時間数	656	518	515	603	467

【評価】

- 一対一の対応を必要とする利用者支援員が定着していることにより、安定した支援ができたが、支援体制が調整できず、利用希望に応えられない事例もあった。支援員の増員に取り組んでいく。

# ⑧ いこいの家事業（多機能型障害福祉サービス事業所）

精神障がい者の社会参加を促進するため、安心して集い交流し、仲間づくりや相談事ができる活動を提供しました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	○ 開設日数 41日（毎週月曜日） ○ 延べ利用者数 155人（平均13人／月）
利用者が安心して活動できる場所と機会の提供	○ 利用者の希望に応じ、室内・野外での軽スポーツ、レクレーション、季節を楽しむ行事や調理、外出など多彩な活動を提供 ○ 保健センターと連携しながら利用者の相談支援を実施

## ● 延べ利用者数の推移

（単位：人）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
いこいの家利用者数	194	213	233	174	155

### 【評価】

- 今年度、新規利用者を迎えたが体調不良により継続利用には至らなかった。継続利用者も体調や家庭事情の変化等により利用回数が減少しているが、「いこいの家」で過ごす時間を何より楽しみにしている。
- 精神障がいに理解の深いボランティアに恵まれ、継続的に活動いただいている。次年度以降、後継ボランティアの育成について、関係機関と連携しながら進めていく。



元「わさびず21」メンバーの中村さんと吉良さん



いこいの家「セタコンサート」（7/3 総合福祉センターエントランスホール）



## (5) 障がい福祉サービス事業

個々の環境に応じて自立した在宅生活に求められる能力が引き出せるよう、保健、医療、地域の支え合い活動等と連携しながら、各種障がい福祉サービスを提供しました。

### ① 障がい者居宅介護事業

住み慣れた地域で自立した在宅生活が送れるようホームヘルプサービス提供をしました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 366日</li> <li>○ 平均契約者数 32人/月</li> <li>○ 延べ訪問時間数 6,964時間（平均580時間/月）</li> </ul>
在宅生活の維持向上	○ 利用者との信頼関係づくりに努め、生活上の困りごとを支援
関係機関との連携強化	○ 利用者、家族、市担当者、相談支援専門員と連携を取りながら、支援の方向性を検討
障がいの理解	○ 障がいの理解や本人の思いを受け止める関係づくりのため、内・外の研修を実施

### ● 延べ訪問時間数の推移

（単位：時間）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
延べ訪問時間数	6,408	6,800	6,581	6,751	6,964

#### 【評価】

- 一人当たりの利用頻度が高いことから、入院やショートステイ利用に伴う実績の落ち込みが大きい。
- 該当年齢到達で介護保険に移行した際、それまでのサービス水準を維持するため、介護保険サービスと障がい福祉サービスを併用して利用する方が増えている。

### ② 多機能型障害福祉サービス事業

利用者の心身の維持と発達の可能性を図れる就労支援・生活介護の実践に努めました。

項 目	事業結果・内容
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 245日（年末年始・祝日を除く月～金曜日）</li> <li>○ 平均契約者数 46人/月</li> <li>○ 延べ利用者数 8,249人（平均687人/月）</li> </ul>
個別支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画に基づいたサービスを提供し、評価を実施</li> <li>○ ニーズ把握による更新</li> </ul>
利用者健康診断の実施	○ 職員同行の定期健診を実施（31人、市立大町総合病院）
散歩等による運動機能向上	○ 大町駅までの商店街通りの散歩のほか、青島公園やアルプス公園などで季節感を感じながら実施
スポーツ、レクリエーション等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間の行事計画に基づき実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ お花見・きょうされん交流会（4月）</li> <li>◆ 日帰り旅行（群馬サファリパーク）（5月）</li> <li>◆ 大北地区障がい者運動会参加（6月）</li> <li>◆ セタコンサート（7月）</li> <li>◆ 流しそうめん（8月）</li> <li>◆ 焼肉会（9月）</li> <li>◆ クリスマス会（12月）</li> <li>◆ 新年会（1月）</li> <li>◆ 大町地区社協レクリエーション交流会（3月）</li> </ul> </li> </ul>

項 目	事業結果・内容
リハビリ訓練の実施	○ リハビリ体操（28回）、体幹機能訓練（16回）
看護師によるケアの充実	○ 体調不良時の受診の判断や静養等、迅速・適切に対応 ○ 定期健診の結果から健康状態を掌握し、服薬管理等の助言を実施
定期受注の確保と新規作業の開拓、営業	○ 市内9業者から作業を受託（継続） ○ 新たに市内1業者から作業を受託
短期受注の受け入れ	○ 新規受注品目は無く、例年どおり受注
自主製品の改良、新製品の開発、販路の拡大	○ 定番商品EMプリン石鹸の顧客要望に応え、扱いやすい液体石鹸への改良を試行中
地域のイベントへの参加	○ 地域住民との交流会 6回 ○ 自主製品の出張販売会 23回
自主製品販売会の実施	○ 毎月第3木曜日 10:00～15:00（総合福祉センター 1階エントランスホール）
喫茶「すまいる」の営業	○ 祝日を除く毎週木・金曜日に営業
コーヒーの出張販売	○ 総合福祉センター内26会議、外部販売4会場で実施

● 延べ利用者数の推移 (単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
就労継続支援B	5,013	4,747	3,946	4,496	4,703
生活介護	4,808	4,206	4,960	3,610	3,546
合 計	9,821	8,953	8,906	8,106	8,249

● 事業区分別契約者数（平成28年3月末現在） (単位：人)

事業所名	生活介護（障害程度区分別）						就労継続支援B型	合計
	1	2	3	4	5	6		
ひまわりの家	0	3	2	5	1	0	20	31
たんぽぽ	0	0	0	1	4	3	—	8
すずらん	—	—	—	—	—	—	11	11
合 計	0	3	2	6	5	3	31	50

【評価】

- 施設入所による契約終了が1件、新規契約が2件で、利用者の増減は少なかった。障がい特性に応じた3事業所の運営形態を活かし、様々な障がいニーズに応えていく。
- 定期健康診断では、家族等に生活習慣病予防について考えていただける機会も作れた。
- リハビリ訓練では、理学療法士からの個々に適した細やかな指導により、楽しみながらストレッチや筋トレができ、家族にも好評をいただいている。日々の体操にも取り入れ、さらに身体機能の維持・向上に努めていく。
- 受注作業は、市内9業者との信頼関係のもと定着しており、新たに1業者から作業を受託し、利用者の作業内容にも幅が広がった。
- 自主製品の販売会は、大北圏域内の障がい福祉サービス6事業所の合同販売会となり、充実が図れた。

手を貸そう 自分ができること きっとある

（美麻小中学校9年 東條 美優さん）

平成27年度福祉啓発標語入選作品

## 5. 経済的支援活動の推進

さまざまな事情で経済的に困っている人が生活意欲を取り戻せるよう、一時的な資金の貸し付けと生活相談を行いました。

また、火災や自然災害等で被災した世帯に対し、当面の生活確保に必要な支援を行いました。

### (1) 生活困窮者等自立支援事業

生活困窮者からの相談に応じ、相談者に寄り添いながら、就労等自立に向けて必要な支援を行いました。

項 目	実施結果・内容
ワンストップ型相談窓口の開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開設日数 243日（祝日・年末年始を除く月～金曜日）</li> <li>○ 新規相談者数 106人</li> <li>○ 延べ支援回数 454件（平均38件／月）</li> </ul>
相談者の自立に向けた支援プランの作成と支援調整会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行政、受託団体、関係支援団体等に出席してもらい、自立支援プラン適否の協議、プラン終結等評価等を行うため、支援調整会議を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 4～10月：2カ月に1回、11月～毎月1回</li> </ul> </li> <li>○ 一時生活支援事業、就労準備支援事業、生活保護受給者等就労自立促進事業等の支援調整会議を随時開催</li> </ul>
大北地域連絡会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活就労支援センター大北地域連絡会への協力（10月27日）</li> <li>○ 同実務担当者部会への出席（2月26日）</li> </ul>
制度周知の広報活動	○ 利用方法について、大北圏域の市町村社協広報紙に掲載

### ● 相談者数・延べ支援回数の推移

年 度	H23	H24	H25	H26 ※	H27
新規相談者数（人）	—	—	—	105	106
延べ支援回数（回）	—	—	—	369	454
地域支援回数（回）	—	—	—	70	102

※ H26 はモデル事業

### ● 市町村別・年代別相談者数

（単位：人）

年 代	大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	不明	合計
～20代	2		1				3
20代	4	1	4	5			14
30代	11	2	2	1	2		18
40代	14	2	4	5	1		26
50代	16	3	3	4	1	1	28
60～64歳	4	3					7
65歳以上	17	4	1	1	1		24
不 明	3		1				4
合 計	71	15	16	16	5		124

#### 【評価】

- 大北圏域内の特徴として、40～50代の人からの就職の相談が多い。就職内定者は21人であったが、正規雇用は厳しく、非正規雇用が多かった。
- 町村を対象とした「ひきこもり等相談会」を開催した。発達障がいの可能性のある人の相談が多く、スクラム・ネット等の関係機関と連携しながら今後も継続開催していく。

## (2) 資金貸付事業（小口資金・生活福祉資金）

低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯等に対し、経済的自立と生活意欲の助長を図るため、各種資金の貸し付けと生活相談を実施しました。

項 目	実施結果・内容
関係機関と連携した自立支援の推進	○ 貸付相談の内容に応じて、行政やハローワーク、まいさぼ大町等関係機関と連携
定期的な訪問による償還指導	○ 小口資金では、借受人宅訪問等による償還指導を実施 ○ 生活福祉資金では、長野県社会福祉協議会の指導により、長期滞納者に対し訪問償還指導を実施
償還依頼通知の発送	○ 小口資金貸付金の償還依頼通知を年2回発送
滞納整理、返済不能貸付金の欠損処分	○ 小口資金延滞利子減免対象者の生活状況等調査を実施（2件） ○ 生活福祉資金長期滞納者の生活状況等を調査し、長野県社会福祉協議会に提出（償還免除6件）

### ● 生活福祉資金貸付状況

資金種別		貸付申請		貸付決定		年度末貸付金残高		完済 件数
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
小口資金（大町市社協）		18	1,176,514	13	746,514	24	1,812,683	14
生活福祉資金 （県社協）	総合支援資金	0	0	0	0	9	2,416,243	2
	緊急小口資金	1	43,000	1	43,000	10	703,225	6
	教育支援資金	3	1,102,000	3	1,102,000	26	6,888,132	2
	福祉資金	1	16,000	1	16,000	10	10,117,002	4
	合 計	5	1,161,000	5	1,161,000	55	20,124,602	14

※ 年度末貸付金残高には利子・延滞利子を含む。

※ 完済件数には欠損処分及び延滞利子減免件数を含む。

※ 離職者支援資金は総合福祉資金に含む。

### ● 貸付決定件数の推移

（単位：件）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
小口資金(大町市社協)	1	4	4	8	13
生活福祉資金(県社協)	22	3	4	4	5

### ● 年度末貸付金残高（元金）の推移

（単位：千円）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
小口資金(大町市社協)	1,675,000	1,422,000	1,338,500	1,251,500	1,200,204
生活福祉資金(県社協)	16,289,772	15,055,526	15,705,578	15,951,128	15,020,880

#### 【評価】

- 小口資金は、償還依頼通知を連帯保証人にも通知したことにより、完済者が増えた。
- 生活保護受給決定までの生活費やライフラインの復旧等、緊急かつ少額の相談が多く、小口資金の貸付件数が増えた。また、連帯保証人が確保できない場合や、知人・勤務先等で対応可能な場合は決定せず、まいさぼ大町等の関係機関につなげた。
- 生活福祉資金は、修学資金等を中心に県社協に貸付申請し、全て決定となった。



### (3) 災害見舞金等支給事業

被災した市民または遺族に対し、行政等と連携し援護物資や各種見舞金を支給しました。

項 目	実施結果・内容
援護物資(寝具)の支給	○ 被災者からの要請により寝具一式を支給(1件・4組)
災害見舞金の支給	○ 被災状況に応じた災害見舞金を支給 ◆ 神城断層地震 一部損壊1件(3,000円) ◆ 住宅火災 全焼1件(10,000円)
共同募金災害援護金の支給	○ 被災状況に応じた災害援護金を支給 ◆ 住宅火災 全焼1件(10,000円)
交通・災害遺児見舞金の支給	○ 交通・災害事故の遺児等の把握と、県社協への見舞金の支給申請、遺児等への支給を実施 ◆ 件数・遺児数 1件・2人(1人当たり150,000円)

#### ● 災害見舞金等支給実績の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
寝具支給数(組)	0	18	0	5	4
見舞金支給数(世帯)	3	5	0	72	2
見舞金支給額(円)	11,000	43,000	0	230,000	13,000

#### 【評価】

- 行政と連携し、被災者等に迅速な対応ができた。
- 県社協交通・災害遺児見舞金の支給については、本会のみでの対象者把握が困難なため、大町市子育て支援課及び学校教育課(市教育委員会)に事業への協力を依頼した。

ありがとう こころのなかが ぽっかぽか

(大町西小学校3年 西澤 聖奈さん)

一人の 心・笑顔 大切に

(大町南小学校5年 山口 乃々葉さん)

通学路 感謝をこめて ゴミ拾い

(仁科台中学校1年 中山 朋音さん)

平成27年度福祉啓発標語入選作品

## Ⅳ 受け継がれるまちづくり

地域福祉活動を継続的に展開するため、住民の福祉意識の高揚と担い手の育成に努めました。

### 1. 地域における福祉意識の啓発

広報紙等による福祉情報の発信や社会福祉功労者の表彰、市民からの福祉啓発標語の募集を通して、地域福祉の意識啓発に努めました。

#### (1) 福祉情報発信事業

広報紙やホームページを活用し、身近でタイムリーな情報発信に努めました。

項 目	実施結果・内容
広報紙「社協おおまち」の発行	○ 地域のつながりづくりとして、地域住民が実施する「集いの場」活動に焦点を当てた内容を中心に掲載 ◆ 年6回（偶数月1日）発行（全戸配布9,600部、詳細別記）
ホームページの充実と活用	○ 広報紙・ボランティアニュースのほか、各種講座の開催等を掲載

#### ● 広報紙「社協おおまち」の発行内容

号 数	発行日	主な記事
175号	4月1日	カーレット紹介（表紙）/H27事業計画・予算/まいさぼ大町紹介/知って得する講座インタビュー
176号	6月1日	南原町よつ葉会サロン（表紙）/特集！地域の集い/集い参加者へのインタビュー/社協新組織体制/共同募金配分贈呈式
177号	8月1日	十日町つくしの会カラオケサロン（表紙）/H26事業報告・決算/小地域福祉ネットワーク研修会/社協特別会費について
178号	10月1日	宮田町にここサロン（表紙）/市民ふれあい広場/赤い羽根共同募金運動/大町市総合福祉センター紹介
179号	12月1日	若原町わかば会住民交流（表紙）/神城断層地震から1年/災害ボランティアセンターとは/社協特別会員名簿
180号	2月1日	大新田町こだまカフェ、鮎貝商店よってって（表紙）/これからの地域活動/赤い羽根共同募金大口募金者名簿

#### 【評価】

- 広報紙は、1年を通して地域の集い活動取材し、これからの地域活動について考えていくきっかけになる内容に努めた。
- 社協の情報を広く発信するため、ホームページの内容を更に充実していく。



広報 177号 表紙「十日町つくしの会」

## (2) 地域福祉意識啓発事業

社会福祉功労者の表彰や福祉啓発標語の募集を通して、地域住民の福祉意識の啓発に努めました。

項 目	実施結果・内容
社会福祉功労者表彰	○ 市民ふれあい広場のオープニングセレモニーにおいて、社会福祉功労者の表彰と多額金品寄附者への感謝状贈呈を実施（10月10日）
福祉啓発標語の募集	○ 市内各校に募集要項を配布するとともにボランティアニュースで周知し、選考委員会で入選作品を選考 ◆ 募集時期 10～1月 ◆ 募集部門 小学校低学年、小学校高学年、中学校、高等学校、一般 ◆ 応募総数 803点（小低95、小高248、中434、高20、一般6） ◆ 選考結果 入選作品37点（最優秀3、優秀10、佳作24） ○ 大町市ボランティア交流研究集会で最優秀賞の表彰を実施 ○ 入選作品をイベントや市総合福祉センター内で展示、ボランティアニュースや各種会議資料に掲載

### ● 表彰者数（個人 9 人、団体 10 団体）

区 分	表彰基準	表彰者数
表 彰	本会役員	1 人
	保護司	1 人
	社会福祉事業団体役員	6 人
	優良活動団体	8 団体
感謝状	多額金品寄附（個人）	1 人
	多額金品寄附（団体）	2 団体

### ● 福祉啓発標語応募点数の推移

（単位：点）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27
小学校低学年	46	26	153	125	95
小学校高学年	108	91	241	169	248
中 学 校	16	48	15	0	434
高 等 学 校	85	88	98	0	20
一 般	11	6	6	6	6
合 計	266	259	513	300	803

#### 【評価】

- 福祉啓発標語は、募集時期の見直しや周知活動を行い、昨年に比べて応募学校数・応募数ともに増加し、より多くの人に取り組んでいただけた。
- 入選作品をイベントや総合福祉センター内での展示、ボランティアニュースや会議資料への掲載等により、広く周知することに努めた。今後も幅広い年代が福祉に関心を持てただけの取り組みとして継続していく。



社会福祉功労者表彰（10/10 市民ふれあい広場）

## 2. 地域の担い手育成

地域住民や子どもたちへの福祉教育の推進と、地域の助け合い活動につなげるための担い手育成に努めました。

### (1) 福祉教育推進事業

項 目	実施結果・内容
地域や学校への福祉出前講座の実施	○ 高齢者疑似体験、レクレーション指導、ボランティアセンター業務紹介等の出前講座を実施 ◆ 延べ8回（大町HP、小地域福祉ネットワーク等）
小中高等学校での体験講座等の福祉相談支援	○ 社協事業を掲載した冊子を市内小中高校に配布し、事業説明と情報交換を実施 ○ 高齢者疑似体験、車いす体験、手話学習、点字学習、アイマスク体験等の出前講座を実施 ◆ 6小学校（延べ18回）、2中学校（2回）、1高校（延べ16回）

#### 【評価】

- 各学校の総合的な学習の時間で福祉体験講座を実施しており、その中で体験学習に取り組んだため、小中学生を対象としたボランティア塾の開催は見送った。
- 地域や各小中高校へ出向き、福祉体験講座を実施することで、きめ細やかな要望への対応や、地域の方との対話や連携の場につながった。
- 今後も地域や学校への出前体験講座を通して福祉教育の推進と啓発に努めていく。

### (2) 地域福祉活動担い手育成事業

項 目	実施結果・内容
ボランティア基礎講座の開催	○ 男性の料理教室を開催 ◆ 6月4日「レトルト食品や缶詰をちょこっとアレンジ」 平公民館 参加者6人 講師：奥原栄養士 ◆ 8月4日「郷土料理「おやき」作ろう」 常盤公民館 参加者5人 講師：ゆずり葉の会
有償ボランティアの仕組みづくりの検討	○ 「大町市の在宅有償生活支援サービスを考える会」を組織し、次年度からの有償ボランティアの仕組みについて検討 ◆ 開催日 3月15日 ◆ 会 場 大町市総合福祉センター ◆ 参加者 JA大北助け合いの会担当者 北アルプス広域シルバー人材センター担当者 大町市地域包括支援センター担当者

#### 【評価】

- 男性の料理教室を通して新たなつながりができ、地域活動のきっかけとなった。今後も継続的に開催し、広く周知することで男性の地域活動者を増やしていく。
- 有償ボランティアは、「大町市の在宅有償生活支援サービスを考える会」の検討により、次年度からの立ち上げ準備ができた。今後は各事業所と連携をもった仕組みとなるよう、内容の詳細を検討していく。



### 3. 地域福祉活動団体の育成

市内で活動中の福祉団体に対する相談支援や助成金の交付を通して、各団体の育成を図りました。

#### (1) 小地域福祉ネットワーク活動推進事業

項 目	実施結果・内容
ネットワーク活動助成事業	○ 新規設立ネットワークへの助成：申請なし ○ 既存ネットワークへの助成：社協会費財源のネットワーク支援事業助成金を地区社協に交付（各ネットワークには各地区社協から交付）
ネットワーク研修会の開催（再掲）	○ ネットワークを対象とした交流会と研修会を開催 ◆ 交流会：7月2日、勉強会：11月30日 ○ 市地域包括支援センターとの共催で、介護保険改正による地域への影響等についての研修会を開催し、多くのネットワーク関係者が参加 ◆ 地域包括ケアゼミ：6月18日、9月15日、2月4日
ネットワーク活動の支援（再掲）	○ ネットワーク立上げについての説明会を開催 ◆ 説明会開催地区：大塩（新規）、旭町（再開） ○ 今後の活動に関する意見交換のため、既存のネットワークを訪問 ◆ 訪問地区：十日町/大新田町/南原町/高見町/三日町/堀六日町/俵町

#### 【評価】

○ 新規ネットワークの設立には至らなかったが、休会となっていた地区で説明会と相談会を開催し再開となった。引き続きネットワークの必要性を説明しながら推進する。

#### (2) 地域福祉活動団体育成事業

項 目	実施結果・内容
福祉団体等の活動への助成	○ 地区社協及び福祉団体が行う活動に対し、社協会費・共同募金配分金財源の助成金を交付（4月申請受け付け、5/18交付決定、6月中交付） ◆ 6地区社協 2,300,100円 ◆ 福祉団体10団体 830,000円
公募による新たな助成金事業の開発	○ 共同募金会事務局で「組織のあり方検討会」を組織し、新組織への移行と公募助成金について検討
ボランティア活動への助成	○ ボランティア団体が行う活動に対し、5万円を限度に助成金を交付 ◆ 17団体 492,000円
ボランティア活動保険掛金助成	○ ボランティア活動保険掛金の一部（140円/人）を助成 ◆ 1,813人 253,820円

#### ● 地区社協助成金交付実績（社協会費財源）

（単位：円）

地区名	地域交流事業	啓発活動事業	災害時支え合い活動事業	ネットワーク支援事業	合計
大町	152,000	100,000	0	683,900	935,900
平	100,000	100,000	0	167,500	367,500
常盤	167,000	0	0	180,000	347,000
社	167,000	0	0	169,700	336,700
八坂	80,000	10,000	0	70,000	160,000
美麻	153,000	0	0	0	153,000
合計	819,000	210,000	0	1,271,100	2,300,100

● ボランティア活動団体助成金交付実績（社協会費財源）（単位：円）

団体名	事業内容	助成額
安曇養護学校大町地区PTA	地域貢献活動（施設花植え等）	30,000
大町市観光ボランティアの会	学習研修活動（ガイド研修）	14,300
大町市婦人会	地域貢献活動（古紙回収等）	4,800
大町市朗読グループかつこう	福祉教育啓発活動（朗読図書作成等）	10,400
大町点訳ほたるの会	福祉教育啓発活動（広報紙の点訳）	30,000
シニア大学常盤地区同窓会睦会	地域貢献活動（駅前草刈活動等）	25,000
要約筆記サークルおきあがりこぼし	学習研修活動（学習会）	20,000
傾聴ボウきくきく	学習研修活動（学習会）	25,000
賛助会大町グループ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	12,000
アルプスリンゴーズ	地域貢献活動（福祉施設交流等）	42,500
ファミリーサポートバンビ	学習研修活動（子ども向け調理実習等）	45,000
ゆずり葉の会	地域貢献活動（高齢者交流会）	50,000
アッサンブレ	啓発活動（障がい者との交流事業）	15,000
アロマセラピー ブルーローズ	地域貢献活動（福祉施設交流、学習会）	50,000
大町山岳博物館友の会 ボランティアサークル	学習研修活動（ガイド研修会等）	50,000
オルカの輪	学習研修活動（障がい支援）	18,000
おはなしの会「やしろ」	学習研修活動（学習会）	50,000
合 計（17団体）		492,000

● 福祉団体助成金交付実績（共同募金財源）（単位：円）

共同募金活動区分	団体名	助成額
老人福祉活動	大町市老人クラブ連合会	50,000
障害児・者福祉活動	大町市身体障害者福祉協会	35,000
	大町市手をつなぐ育成会	30,000
児童・青少年福祉活動	大町市母子寡婦福祉会	45,000
	大町市子ども会育成連絡協議会	50,000
福祉育成・援助・組織化活動	大町市民生児童委員協議会	55,000
	大町市保護司会	25,000
	大町市遺族会	30,000
	大町市更生保護女性会	10,000
合 計		330,000

【評価】

- 共同募金の「組織のあり方検討会」では、新組織に移行後に公募助成金の開発を検討していくこととなった。次年度スタートする「大町市共同募金委員会」で、地域ニーズに合致する助成金を検討していく。
- ボランティア活動団体助成金は、地域貢献活動や学習研修活動団体が中心だが、新たに障がい支援活動団体に助成した。
- 今後も活用しやすい助成金制度について検討し、活動団体の育成を図っていく。